

思文閣出版・中央公論美術出版・吉川弘文館

美術書カタログ

# 美の誘惑

美術書特選目録 2011

絵画・彫刻・工芸・歴史・建築

それぞれの出版社の個性が交差し、新たな光彩を放つ!



六祖慧能図(部分) 無学祖元賛  
鎌倉時代・13世紀 重要文化財 正木美術館蔵

## 墨の力

高橋 範子 (正木美術館副館長)

この人の、見つめるその先は、どこなんだろう。

作務衣姿のこの男。名は慧能。達磨を祖師とする禅宗の第六祖。その修行の姿を描く。師匠から与えられた修業は、米つき。米のきしむ鈍い音が真夜中まで響いた。華奢な体を補強するために、腰に重い石をつけての作務だった。本図に寄せられた中国僧・無学祖元の詩には「祖翁の腰石、山より重し」とある。そして八ヶ月。腰を患った慧能は、その「痛」に関する問答によって、師に認められた。一文字にくくった口元。えらの張ったあご。かみしめた想いが首筋から全身へと伝わる。輪郭を描くやわらかな水墨の筆線と、眉や髭、頭髪を描く緊迫の極細の墨線。この図には、禅宗という宗教とともに、禅寺の文化としての水墨画がわが国に入ってきた当初の、厳格と初々しさがみなぎっている。

墨一色で描く——。禅寺では、画僧とよばれる絵描きたちが絵筆を握った。筆に、墨をたっぷり含ませ、翻りながら伸びあがる蘭の葉を描く。ときには、筆に水をたっぷり含ませて、濃墨から淡墨へとなだらかなグラデーションのなかに山水の景観を創りだす。筆を激しく投げ打つようにして表した濃い墨の塊は、巨大な岩山となって、私たちの前に現れ出た。

墨痕という言葉がある。墨の痕跡のことである。墨痕淋漓という言葉がある。その墨の痕跡がみずみずしいことである。室町の世、水墨山水の図を前にして感慨にふける禅僧がいた。京都、東福寺の高僧・了庵桂悟である。「私は常々、山水の図を愛好している。描かれたものだからといって、どうしてこれをただ単に仮の景色だといえるのだろうか」。禅僧は描かれた風景のなかにどっぷりと身を置き、自然を満喫していた。白い雲に、赤い谷。谷にかかる橋に水はめぐり、粗末な小舟が岸辺に泊まる……。描かれた一つ一つの景色に眺め入りながら、やがて真の山水と仮の山水の隔たりなどない気持ちになる。真も仮もない、自己も自然もない。一体化し、融合するその瞬間! 「恍惚の中を得る有り」と室町の高僧は表現した。

一幅の水墨山水図を熟視するなかに訪れた変化。恍惚——。墨の力に圧倒され、自然の大きさに包み込まれて、意識がもうろうとして、放心状態になる。恍惚のど真ん中に導かれるその快感。これぞ、まさしく美の誘惑!

正木美術館  
〒595-0812 大阪府泉北郡忠岡町忠岡中 2-9-26  
TEL 0725-21-6000 / FAX 0725-31-1773  
URL : <http://masaki-art-museum.jp>

た の む ら ち く で ん

# 田能村竹田基本画譜

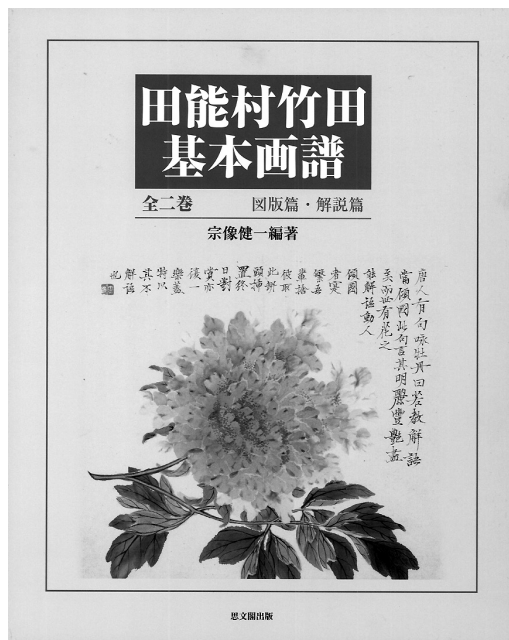
図版篇・解説篇 全2巻

宗像健一編著

田能村竹田（安永6年～天保6年）は資性文雅を好み高才多能、詩歌・文章・書画・茶・香みなどに通暁した。池大雅、与謝蕪村のあと、わが国南画の隆盛期を築いた。図版篇には厳選された140点（カラー95点・モノクロ45点）の作品を大型図版で収録。解説篇には総論と基本作品の詳細を極めた個別解説のほか、題詩・落款・印譜・年譜などを収録。

〈主な内容〉【図版篇】 河豚図／茂林雨後図／漁父図／寒林帰樵図／浄厨新儲図／夏溪清談図／梅花図／沈香亭餘紅図／梅花芙蓉図／石田法山水図／雲樹矮亭図／老樹帰漁図／四季花鳥図／松石清品図／煙霞帖／榮貴万年図／唐児養禽図／浅絳山水図／山水図／雁来紅群雀図／墨蘭図／蕙蘭図／蘭叢錯石図／芙蓉残雪図／疊山積樹図／疎林溪閣図／青蘆白鶴図／高客聽琴図屏風／鍾馗図／伏水望京図／月下蘆雁図／春秋山水図屏風／硯海泛舟図／秋江風怒詩意図／松溪聽泉図／風雨渡谿図／梅溪閑居図／秋景山水図／雲仙岳図卷／船窓小戯帖／白衣大士図／梅花宿鳥図／日撃佳趣画冊／稲川舟遊図／松陰銅鶴図／亦復一楽帖／歳寒三友双鶴図／暗香疎影図／層巒群松図／桃花流水図／曲溪復嶺図／松巒古寺図／梅花書屋図／西行法師図／瓶梅図／波上白衣大士図／山陰夜雪図／清涼無垢画帖 ほか

【解説篇】 総論／解説（基本作品58点を詳細に解説）／題詩等・落款（題詩の翻刻と落款を原寸で収録）／印譜（2色刷・主要印59顆を原寸で収録）／年譜（各事項の出典資料を明記）



B4変判・図版篇カラー152頁・  
図版篇モノクロ20頁・解説篇226頁  
定価29,400円 978-4-7842-1566-9

# 国宝 伴大納言絵巻

黒田泰三・早川泰弘・城野誠治著

日本美術の最高峰・国宝「伴大納言絵巻」の全画面を、現在最高の技術によって撮影し、原寸の大きさで再現する。さらに拡大した部分図を多数収録し、また史実との関わり、絵巻の伝来、伴大納言の怨霊伝説、本絵巻研究史上の問題点や光学的調査による新発見をまとめた論文を収録する決定版。

〈本書の特色〉●伴大納言絵巻全三巻全長26mの全画面を高精細画像の原寸で100頁にわたり再現する。●部分拡大図を200頁にわたり展開。人物、動植物、画中画、建物、炎などの描写を詳細に確認・観賞できる。●特殊撮影や科学的分析により、解明された幾多の発見や絵巻の伝来、伴大納言の怨霊伝説、本絵巻研究史上の問題点、表現における特質、画家像、制作年代・意図をまとめた本文編。●世界最高水準の印刷技術と、印刷効果を考慮し選び抜いた最高の紙（AVION）で、鮮やかな色彩、繊細な描画を再現した。



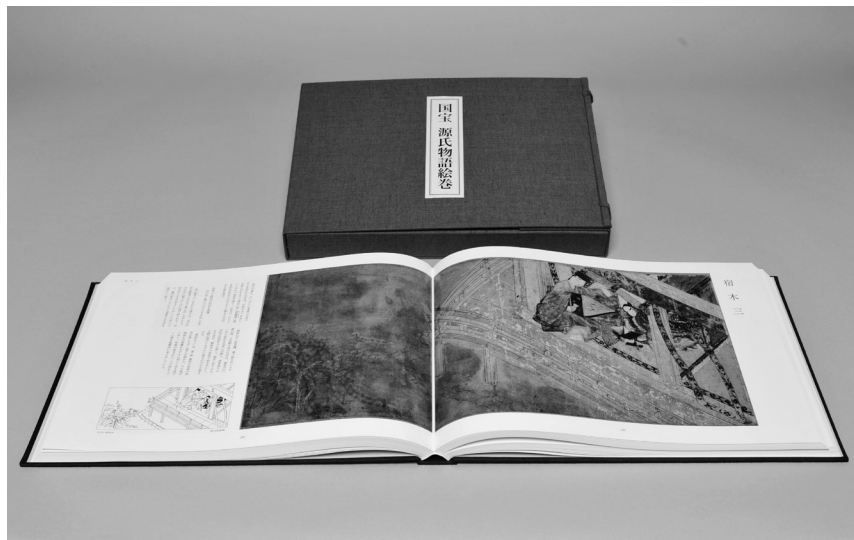
B3判・本文60頁・口絵330頁  
定価126,000円 978-4-8055-0610-3

# 国宝 源氏物語絵巻

徳川美術館・五島美術館編

国宝「源氏物語絵巻」の全容を解明すべく、徳川美術館・五島美術館の共同研究として進められた科学的調査の報告。学術用・観賞用として有効に利用できるよう全図は原寸大に収録し、各場面解説と共に登場人物 77 名の拡大図や部分図を蛍光画像などと共に画像を網羅的に紹介。

〈本書の特色〉 ●オールカラー写真集。貴重な国宝が原寸大で眼前に再現される愛蔵本。美術愛好家や自ら絵を描かれる方々、国文学研究者には必携の書。 ●絵巻全 19 場面に登場する 77 人分の人物画像を一人につき拡大カラー図、X線拡大図、蛍光画像、近赤外線画像の 4 種を大画面見開 2 頁で収録した。 ●美術史、国文学、中世史など多岐にわたる分野において活用される、根本史料の公開。



B 4 判横綴・本文 40 頁・口絵 326 頁

定価 94,500 円 978-4-8055-0585-4

# 戦国時代狩野派の研究 (新装版)

狩野元信を中心として

辻 惟雄著

日本絵画史上最大の流派である狩野派。その初期形成過程を解き明かした名著を、新装版として待望の復刊。戦国時代十五世紀後半より十六世紀中頃までにおける狩野派の成立・発展を、文献と作品に即し、政治史・社会史などの動向をも視野に入れて実証的に考察。狩野派の作品目録の役割も果たす。さらに、初版刊行後の研究を解説した新稿を付載。

〈主な内容〉 図版／序／凡例／総論—狩野派の成立と展開（狩野派の成立—社会的存在としての／初期狩野派の画風展開／日本絵画史における狩野派の位置—岡倉天心の狩野派評をめぐって）／狩野正信・元信とその周辺（狩野正信の絵画／狩野元信〈同時代の史料／生没年、墓／名号、叙任／作画環境、収入／血縁／作品／元信周辺画家とその作風／総括〉以下細目略／狩野元信補遺／元信・元信派作品解説／狩野雅楽助作品考）／元信以後（聚光院障壁画と狩野松栄・永徳／聚光院障壁画と狩野松栄・永徳補遺／故キャロライン・ウィールライト女史の「狩野松栄論」／永徳の三上山真景図について／松栄・永徳作品解説／狩野秀頼）／付載（東京国立博物館蔵・初期狩野派作品の模本について／〈書評〉武田恒夫『近世初期障屏画の研究』）／あとがき／索引／英文目録・要約

辻 惟雄／1932 年生まれ 1957 年、東京大学文学部美術史学科卒業 1981 年、東京大学文学部教授 1992 年、国際日本文化研究センター教授 1999 年、多摩美術大学学長 現在 MIHO MUSEUM 館長



A 4 判・本文 384 頁・原色口絵 4 頁・単色口絵 32 頁  
定価 31,500 円 978-4-642-07913-6

# 中国絵画史 (新装版) 全4冊

上(絵画の起源～北宋) 44,100円  
 中之一(南宋・遼・金) 44,100円  
 中之二(元) 44,100円  
 下(明) 56,700円

## 日本学士院賞〈受賞〉

鈴木 敬著

中国絵画の碩学が書き下ろした、日本初の本格的通史。内外の研究成果を踏まえ、新出の素材をも駆使して描かれた大著を、新装版として待望の限定復刊。紀元前から明の時代まで、郭熙・董源・沈周ら著名な画家たちの膨大な作品をもとに、山水画・花鳥画などの様式の成立や画法に迫る。中国絵画はもちろん、日本絵画を学ぶ上でも座右必備の書。

〈本書の特色〉●中国絵画の碩学が書き下ろした、待望久しい本格的通史●各巻を本文編と図版編に分冊し、専門性を高めた画期的編成●収録図版920点余、中国絵画の総合図録としても役立つ●参考文献の解題、註・年表・索引などにも新たな知見を提示

〈本文編の主な内容〉(上)=I 中国絵画研究史概観—中国論画書を中心に—  
 /II 中国絵画の史的考察(中国絵画の起源/魏晋南北朝時代の絵画—中国絵画様式の源流—/北朝の絵画/唐時代/晩唐・五代の絵画/南唐の絵画/その他の五代の画家達とその絵画/宋時代の絵画/北宋の墨戯) (中之一)=II 中国絵画の史的考察(上巻より続く)(南宋の絵画/大理国梵像巻/遼・金の絵画) (中之一)=II 中国絵画の史的考察(中之一より続く)(元の絵画) (下)=II 中国絵画の史的考察(中之一より続く)(明代の絵画/職業画家/文人画家/明代最末期の文人画家(董其昌を中心として)/終焉期の浙派と書院画家/道釈人物画/花卉雑画/後書きに代えて



永泰公主墓壁画部分(唐)(本書より)

B5判・本文編=平均322頁・図版編=平均366頁

全4冊セット特価 168,000円

特価期限 2012年3月末日まで。

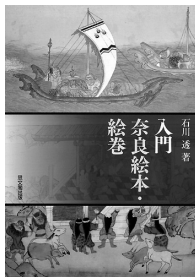
期限後は 189,000円 978-4-642-08167-2

## 入門 奈良絵本・絵巻

石川 透著

B5判・オールカラー 126頁  
 定価 2,100円 978-4-7842-1531-7

最新研究成果をふまえた「奈良絵本・絵巻の宇宙展」図録。元禄年間に京都で活躍した女性絵師・居初つなの存在を明かした作品も収載。広範な奈良絵本・絵巻の世界をカラー写真で紹介。残部僅少・カバー汚損あり。



## 絵巻 大江山酒吞童子・芦引絵の世界

逸翁美術館編

A4判・カラー 56頁・モノクロ 40頁  
 定価 1,050円 978-4-7842-1591-1

逸翁美術館の「絵巻」展の図録。館所蔵「大江山絵詞」(重文)とサントリー美術館所蔵「酒伝童子絵巻」をカラー図版で対比、館所蔵「芦引絵」(重文)などをも含め逸翁小林一三の絵巻コレクションを一挙公開。



## 没後220年 蕪村

逸翁美術館・柿衛文庫編

A4判・カラー 128頁・モノクロ 82頁  
 定価 2,310円 978-4-7842-1162-3

与謝蕪村(1716-83)の没後220年を記念し逸翁美術館と柿衛文庫が共同開催した展覧会の図録。南画・俳画・嫁入手・扇面・草稿・短冊・俳書・書簡など、新出作品もふくめ全176点を解説を付してカラーで収録。



## 酔うて候 河鍋暁斎と幕末明治の書画会

成田山書道美術館・河鍋暁斎記念美術館編

A4判・カラー 80頁・モノクロ 80頁  
 定価 2,100円 978-4-7842-1383-2

美人画・風俗画・花鳥画・戯画・風刺画、幅広い作品を残し、激動の時代をエネルギーに駆け抜けた奇才・河鍋暁斎が、書画会で席画した作品を中心に構成。カラー73点、モノクロ11点。残部僅少・汚損あり。



思文閣出版

日本・東洋／絵画

## 高句麗壁画古墳と東アジア

門田誠一著

A 5判・448頁  
定価 9,030円 978-4-7842-1546-1

墓主像に焦点をあて、文献や金石文と照らし合わせながら体系的に考察。塵尾や凭几など威儀具・威信財にも着目し、墓主の社会的位置づけや当時の価値観も言及。同時期の東アジア地域の壁画史料との相関的検討を行う。



思文閣出版

日本・東洋／絵画

## 祈りの文化

大津絵模様・絵馬模様

信多純一著

B 5判・本文176頁・口絵2頁  
定価 3,675円 978-4-7842-1425-9

江戸時代から現在まで、近江大津にて作られ、手軽な土産として人々に愛された民画・大津絵。その多彩な画題は、多くの人々の想念の数々を端的に映し出す。新考察を加え、多くの図版とともに解説した全大津絵の事典。



思文閣出版

日本・東洋／絵画

## 風俗絵画の文化学

都市をうつすメディア

松本郁代・出光佐千子編

A 5判・本文364頁・口絵4頁  
定価 6,825円 978-4-7842-1469-3

中世から近世における風俗絵画のメディア性に着目し、様々な視点からアプローチ。歴史学・美術史学・文学・宗教史学などの多岐にわたる分野の専攻者がその分析にいとむ13篇、挿図多数。残部僅少・カバー汚損あり。



思文閣出版

日本・東洋／絵画

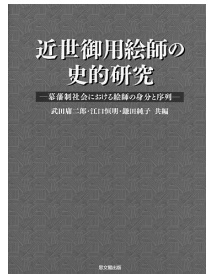
## 近世御用絵師の史的研究

幕藩制社会における絵師の身分と序列

武田庸二郎・江口恒明・鎌田純子編

A 5判・458頁  
定価 7,875円 978-4-7842-1392-4

御用絵師は全国的官位官職制度の中にいかに組み込まれ、時の為政者は、その組織をいかに編成、掌握し、絵師たちはどのような身の処し方をしたか。論考6篇と重要史料の翻刻3篇を取録。残部僅少・カバー汚損あり。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

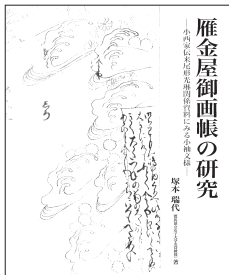
## 雁金屋御画帳の研究

小西家伝来尾形光琳関係資料にみる小袖文様

塚本瑞代著

B 4判・本文250頁・モノクロ口絵182頁  
定価 34,650円 978-4-8055-0664-6

尾形光琳が遺した小西家伝来資料の中にある小袖の雛形が描かれた「御画帳」の全図を掲載、かつ「しきうつし」によって文様、文字を解読。日本のデザインや美意識を端的に語る貴重な資料の全容を明らかにする。



中央公論美術出版

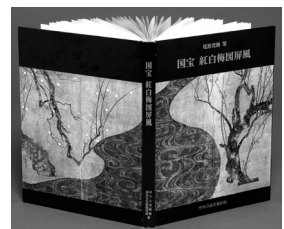
日本・東洋／絵画

## 国宝 紅白梅図屏風

尾形光琳筆 MOA美術館・東京文化財研究所編

B 4判・本文30頁・口絵156頁・折込図2丁  
定価 26,250円 978-4-8055-0500-7

「10億画素の超高精細デジタル画像」「デジタルX線透過撮影」など、最先端技術を駆使して科学の眼が「国宝紅白梅図屏風」に描かれた光琳の技法の謎に挑んだ衝撃の報告。ミクロの世界に現れる、光琳の作為と美の世界。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

## 仏画の尊容表現

泉 武夫著

B 5判・本文428頁・口絵28頁  
定価 31,500円 978-4-8055-0635-6

日本絵画史の中でも最盛期の一つをなす平安から鎌倉時代にかけて制作された仏画にみえる表現の諸相を分析し、作品の特色、属性、様式史的現象の総合的理解を目指し、仏画に描き出された尊容の表現史を論じる。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

## 京狩野の研究

脇坂 淳著

B 5判・本文410頁・口絵8頁  
定価 29,400円 978-4-8055-0639-4

室町時代から幕末まで、公家や寺院の御用絵師として京都を中心に活躍した狩野派を京狩野と呼んでいる。近世京都画壇250年の流れの中で京狩野の画態と営為を明確にした研究の公刊。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

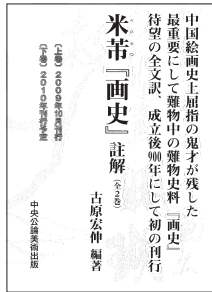
べいふつ

## 米芾「画史」註解 全2巻

古原宏伸著

B5判・上巻本文460頁・挿図497点・  
下巻本文478頁・挿図598点  
上巻定価34,650円 978-4-8055-0608-0  
下巻定価36,750円 978-4-8055-0609-7

中国絵画史上屈指の鬼才が残した最重要にして難物中の難物史料『画史』待望の全文訳、成立後900年にして初の刊行。この重要史料の原典批判を繰り返し、多くの異本校合をとおして、その内容を明らかにした一大労作。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

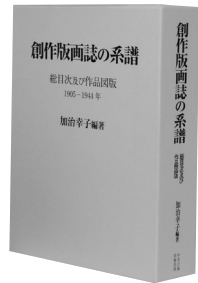
## 創作版画誌の系譜

総目次及び作品図版 1905-1944年

加治幸子著

B5判・本文1116頁・口絵4頁  
定価52,500円 978-4-8055-0569-4

平旦／方寸／虹／白刀／ころみ／月映など明治から大正・昭和前期に刊行された創作版画誌を創刊順に「刊行目録」を編纂し851冊すべての目次と貼付された版画をすべて収録する。図版枚数7,300枚、作家1,200人以上。



中央公論美術出版

日本・東洋／絵画

## 鎌倉仏教絵画考

林 温著

B5判・本文250頁・口絵8頁  
定価18,900円 978-4-8055-0618-9

鎌倉時代、鎌倉に伝来した仏教絵画遺品の図像と様式を分析。禅宗寺院と西大寺系真言律寺院の2系列に整理し、京都や南都の仏画様式とは異なる「鎌倉派」、「鎌倉地方様式」と仮称しうる独特の様式展開がなされたことを論証。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 平安時代世俗画の研究

日本学士院賞(受賞)

秋山光和著

菊倍判・本文528頁・折込1丁・別刷図版95丁  
定価52,500円 978-4-642-07903-7

平安貴族の生活感情が表現された世俗画(やまと絵)。その諸問題を文献資料から探り、源氏物語絵巻等の作品を通して絵画史的意義を解明し、やまと絵の形成過程を実証的に追究。美術史研究上不朽の名著。待望の完全復刊。残部僅少。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 狩野派障屏画の研究

和様化をめぐる

武田恒夫著

菊倍判・本文358頁・原色口絵8頁・口絵32頁  
定価36,750円 978-4-642-07902-0

狩野派研究に、新たな系統研究を提言。和様という和絵古来の型を展開させた画面形式に、漢画系出自の狩野派は、和絵とは対照的な漢画をいかに適応させたのか。狩野派の障屏画制作が、日本絵画史にもたらした意義を検証。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 初期絵巻物の風俗史的研究

(新装ワイド版)

鈴木敬三著

菊倍判・本文670頁・原色口絵20丁頁・単色口絵30頁  
定価52,500円 978-4-642-07909-9

源氏物語絵詞・信貴山縁起絵詞・伴大納言絵詞・平治物語絵詞など代表的絵巻を風俗史・有識故実の視点で考究。豊富な写真・図で服装、調度などを公家・武家・庶民の服装、調度、建物などの諸問題を解明する。不朽の名著。残部僅少。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 肖像画の視線

源頼朝像から浮世絵まで

(歴史文化セレクション)

宮島新一著

A5判・本文240頁・原色口絵2丁  
定価2,940円 978-4-642-06360-9

肖像画は何を語りかけるか。歴史資料として注目される日本の肖像画。鎌倉時代から江戸時代までの多くの作品の緻密な検討から、その変遷・特質と、日本人の精神世界を探る。過熱する像主論争にも一石を投じる。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 絵巻の歴史

(日本歴史叢書)

武者小路 穰著

四六判・本文294頁・口絵2頁  
定価2,835円 978-4-642-06610-5

語りの文学が絵画を生み、絵画が語りをつむぎだしていくなかでつくりだされた絵巻という絵画様式は、日本独特のものである。いま全盛の劇画・アニメの原点ともいえるこの絵巻の成立と展開の歴史を探った興味深い書。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 水墨画にあそぶ

禅僧たちの風雅

(歴史文化ライブラリー)

高橋範子著

四六判・本文 224 頁・原色口絵 1 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05597-0

室町時代、禅僧たちは好んで水墨画を鑑賞し、画僧らが盛んに絵筆を握り、多くの作品が誕生した。彼らはそこに何を描き込んだのか。豊富な図版と共にその魅力を紹介します。室町水墨画の中に、人と人の温かな交流を照らし出す。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

## 水墨画・墨蹟の魅力

正木美術館編

A 5 判・本文 330 頁・原色口絵 24 頁  
定価 3,990 円 978-4-642-07907-5

水墨画や墨蹟は中世美術の精髓とされる。内に秘められた気迫までを読み解くことで、より深い鑑賞が得られる。正木美術館の名品は、現代までどのように受け継がれてきたのだろうか。多彩な視点から、その魅力に迫る。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

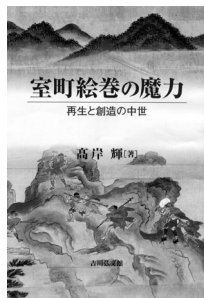
## 室町絵巻の魔力

再生と創造の中世

高岸 輝著

A 5 判・本文 208 頁・原色口絵 4 頁  
定価 3,990 円 978-4-642-07906-8

室町時代、歴代の足利将軍が絵巻の制作・収集・鑑賞を繰り返し、その世界に魅入られていく姿を照射する。また、絵巻の制作に台頭したやまと絵師土佐派の筆の冴えにも迫る。将軍と絵師の両者から描く政治と美の交錯。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

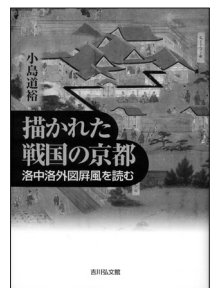
## 描かれた戦国の京都

洛中洛外図屏風を読む

小島道裕著

A 5 判・本文 200 頁・口絵 8 頁  
定価 2,310 円 978-4-642-08025-5

都の風俗や景観が描かれた洛中洛外図屏風。そこには戦国の京都に生きた権力者の姿が生き生きと描かれていた。誰が、何のために描かせたのか。屏風制作の背景や時代の様相を探り、読者を謎解きの世界へと誘う。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

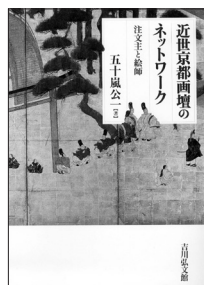
## 近世京都画壇のネットワーク

注文主と絵師

五十嵐公一著

A 5 判・本文 272 頁・原色口絵 4 頁  
定価 4,200 円 978-4-642-07911-2

宗達、探幽、光琳…絵画史上に輝く絵師たちの名品はいかに生まれたか。主な注文主であった醍醐寺三宝院門跡に注目し、歴史に埋れた絵師たちとの関係を復元。絵画制作をめぐるネットワークから作品の新たな魅力に迫る。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

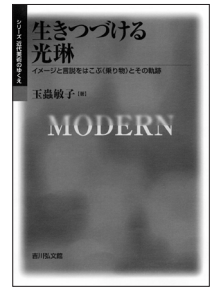
## 生きつづける光琳

イメージと言説をはこぶ《乗り物》とその軌跡 (シリーズ近代美術のゆくえ)

玉蟲敏子著

A 5 判・本文 250 頁・原色口絵 4 頁  
定価 4,095 円 978-4-642-03765-5

きらびやかな屏風絵で知られる尾形光琳は、死後 160 年の西欧や 200 年後の日本で新たに評価され、再生を繰り返した。作品を語る「装飾的」という言葉の由来をもとめ、時空を超えて生きつづける光琳の軌跡を辿る。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

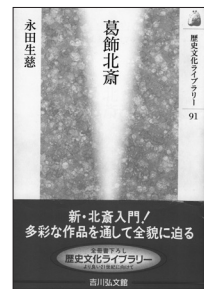
## 葛飾北斎

(歴史文化ライブラリー)

永田生慈著

四六判・本文 234 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05491-1

「富嶽三十六景」や、ヨーロッパ印象派への影響力で知られる北斎。しかし、この評価は、彼の九〇年にわたる生涯活動の一部にすぎない。多くの作品を通して、作画の変遷と特色を探り、全業績の見直しをはかった北斎入門。



吉川弘文館

日本・東洋／絵画

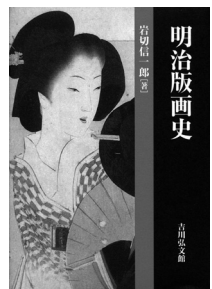
## 明治版画史

芸術選奨 文部科学大臣新人賞(受賞)

岩切信一郎著

A 5 判・本文 392 頁・原色口絵 8 頁  
定価 6,300 円 978-4-642-07910-5

明治は、わが国伝統の板目木版、西欧の革新的な銅版・石版など、史上稀に見る多種多様な版の時代であった。双方はどう関係を切り結んできたのか。その変遷を豊富な図版でたどり、明治版画の実態を解き明かす。



# 奈良時代の塑造神将像

## 奈良国立博物館編

天平彫刻の頂点をなす国宝東大寺戒壇堂四天王立像と法華堂執金剛神立像を、奈良国立博物館がX線透過撮影による画像を詳細に分析し、構造を明らかにする。参考として新薬師寺の十二神将立像を付し、完璧を期す。奈良朝の仏像制作技法の研究に画期的な新知見を呈する報告書。

〈主な内容〉刊行にあたって／凡例／図版…東大寺戒壇堂四天王立像（持国天立像・増長天立像・広目天立像・多聞天立像）・東大寺法華堂執金剛神立像・戒壇堂四天王立像・法華堂金剛神像X線写真／参考資料…戒壇堂持国天立像心木復元模型・戒壇堂四天王像旧状・東大寺法華堂執金剛神立像、戒壇堂四天王立像の彩色文様復元図作成にあたって・新薬師寺十二神将像・新薬師寺十二神将像X線写真／論考…◎東大寺前身寺院における塑造神将像の造立—光学調査の概要紹介と報告書の解題を兼ねて…稲本泰生◎東大寺の塑造神将像の彩色文様…山崎隆之・谷口耕生◎X線画像による塑像の心木構造の調査・研究—国宝東大寺戒壇堂四天王像と法華堂執金剛神像…山崎隆之◎東大寺伝世塑像断片のX線分析…成瀬正和



奈良国立博物館 編

B 4判・本文 40 頁・口絵 122 頁・折込 2 丁  
定価 24,150 円 978-4-8055-0601-1



# 日本彫刻史基礎資料集成

鎌倉時代造像銘記篇  
[第1期・全8巻]

水野敬三郎・井上 正・西川杏太郎・田邊三郎助・副島弘道・山本 勉・根立研介編

彫刻史研究に新たな展望を開いた『日本彫刻史基礎資料集成 平安時代篇』に続き、待望の「鎌倉時代造像銘記篇」第一期全8巻。鎌倉仏700体の十分な基礎データと多様な写真を可能な限り掲載。

〈本書の特色〉◆造像銘記を有する鎌倉時代の仏像を集大成。本篇は、日本彫刻史を研究する上で最も基礎的な資料である造像銘記や像内納入品（願文、経文、木札、結縁交名等）によって、制作年時を特定できる彫刻作品を収録した、鎌倉時代の彫刻作品の資料集成である。◆第一期全八巻で約700体を収録。刊行は二期に分ち、第一期刊行分八巻には文治元年（1185）から仏師湛慶の歿した康元元年（1256）までに製作された仏像約250件（約700体）を収録。◆解説・図版の二分冊で構成。本編各巻は図版と解説が対照しやすいよう、二冊からなる。図版は作品及び作品に付属する、当初からの光背、台座等に至るまで、多様で詳細な写真を収録し、解説では、それらについての基本的データや銘記の翻刻を載せる。◆実地調査に基づいた精確な解説。作品解説は複数の編纂者による共同調査に基づくことを基本とする。解説執筆は、編纂者のほかに、調査に直接携わった研究者がこれに当たり、銘記、納入品、形状、分量、品質構造、伝来、保存状態、備考を記述し、末尾に参考文献を掲げる。

〈第1期・全8巻の構成〉

- |            |   |                   |
|------------|---|-------------------|
| <b>第1巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 298 頁・図版篇 200 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1021-6 |
|            | 阿弥陀如来像、不動明王及び二童子像、毘沙門天像、静岡・願成就院                   | 他全 30 件           |
| <b>第2巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 392 頁・図版篇 258 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1022-3 |
|            | 不動明王像 京都・醍醐寺／金剛力士像 奈良・東大寺                         | 他全 37 件           |
| <b>第3巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 230 頁・図版篇 266 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1023-0 |
|            | 竜灯鬼像、天灯鬼像 奈良・興福寺／不空絹索観音菩薩像 福岡・観世音寺                | 他全 36 件           |
| <b>第4巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 246 頁・図版篇 260 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1024-7 |
|            | 蔵王権現像 奈良・如意輪寺／地藏菩薩像 アメリカ・アジアソサエティ                 | 他全 31 件           |
| <b>第5巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 278 頁・図版篇 214 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1025-4 |
|            | 地藏菩薩像 静岡・MOA美術館／馬頭観音菩薩像 京都・浄瑠璃寺                   | 他全 33 件           |
| <b>第6巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 246 頁・図版篇 234 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1026-1 |
|            | 十一面観音菩薩像 兵庫・中山寺／愛染明王像 奈良・西大寺                      | 他全 30 件           |
| <b>第7巻</b> | A 4判2分冊 解説篇 230 頁・図版篇 266 頁・定価 34,650 円           | 978-4-8055-1027-8 |
|            | 弘法大師像 京都・六波羅蜜寺／玉依姫像 奈良・吉野水分神社                     | 他全 31 件           |
| <b>第8巻</b> | A 4判3分冊 解説篇 202 頁・図版篇 204 頁・補遺篇 182 頁・定価 42,000 円 | 978-4-8055-1028-5 |
|            | 千手観音像 (876 体) 京都・妙法院 他補遺篇 12 件 12 体               |                   |

吉川弘文館

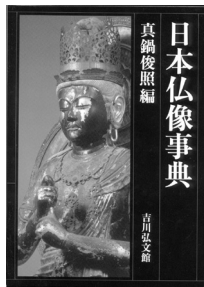
日本・東洋／彫刻

## 日本仏像事典

真鍋俊照編

四六判・本文 440 頁・原色口絵 8 頁  
定価 2,625 円 978-4-642-07938-9

仏像の多種多様な姿をわかりやすく解説した〈仏像事典〉の決定版。如来・菩薩・明王などの種類別に百尊を取録、各部の名称やポーズをイラストで解説する。仏の様々な信仰についても詳説。仏像鑑賞に必携のハンドブック。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

## 仏像の再発見

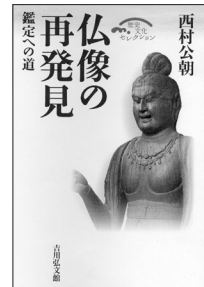
鑑定への道

(歴史文化セレクション)

西村公朝著

四六判・本文 456 頁・原色口絵 2 丁・単色口絵 4 頁  
定価 3,990 円 978-4-642-06346-3

信仰の対象である仏像にも、その制作年代の特徴が形となって現れている。約 1200 体の国宝・重要文化財の仏像を修理した技術者が、その蘊蓄を傾けて、仏像鑑定の秘法を初公開。あわせて仏像美の再発見を説く。(解説=真鍋俊照)



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

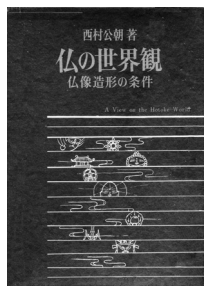
## 仏の世界観

仏像造形の条件

西村公朝著

菊判・本文 222 頁・原色 1 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-07230-4

仏とは何か。経典には仏の由来や功德は詳しいが、その形態にはふれていない。真の仏と造形化された仏像との関係はどこから探るべきか。我国の仏像彫刻や仏画を透して仏教と美術の接点を解き、「仏とは何か」の命題に迫る。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

## 運慶

その人と芸術

(歴史文化ライブラリー)

副島弘道著

四六判・本文 226 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05501-7

日本を代表する仏師運慶は、古代から中世への激動期に、清新な表現の仏像を生みだし、檜舞台に登場した。現場からの最新の研究成果にもとづいて、運慶の作品の本質と、日本の仏像と仏師の魅力を明快に説いた仏像論。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

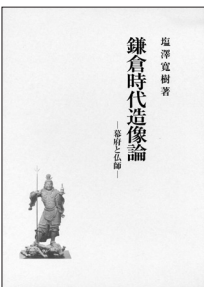
## 鎌倉時代造像論

幕府と仏師

塩澤寛樹著

B5判・本文 368 頁・口絵 16 頁  
定価 31,500 円 978-4-642-07908-2

鎌倉時代の造像の特質と実態を、王権の造像と比較した「幕府の造像」という観点から探り、幕府政治と造像の関係が鎌倉時代彫刻史上に果たした役割を考察する。これまでの様式論中心の研究に新たな展望を拓く。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

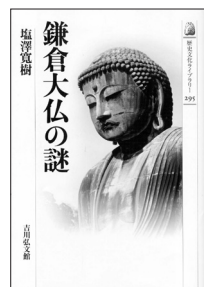
## 鎌倉大仏の謎

(歴史文化ライブラリー)

塩澤寛樹著

四六判・本文 272 頁  
定価 1,890 円 978-4-642-05695-3

「古都のシンボル」鎌倉の大仏は、いつ、誰が、何のために、どのように造ったのか明らかになっていない。政治と宗教の関係、銅造以前に存在した木造大仏、倒壊を繰返した大仏殿など、文献と彫刻史の両面から謎に挑む。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

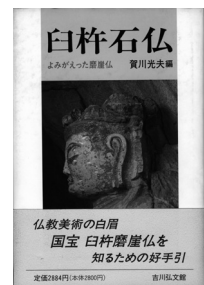
## 白杵石仏

よみがえった磨崖仏

賀川光夫編

四六判・本文 196 頁・原色口絵 4 頁・原色別刷 24 頁  
定価 2,940 円 978-4-642-07461-2

国宝・白杵磨崖仏は 37 年にわたる調査・保全工事・仏体修復をへて見事によみがえった。日本を代表するこの貴重な文化遺産を、文献や資料を駆使して、考古学・歴史・美術史の面から、その実像と創建の歴史をさぐる。



吉川弘文館

日本・東洋／彫刻

## 毘沙門天像の誕生

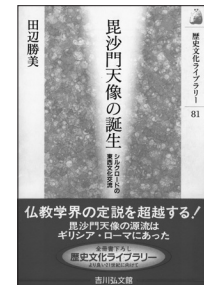
シルクロードの東西文化交流

(歴史文化ライブラリー)

田辺勝美著

四六判・本文 206 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05481-2

七福神の一人として著名な毘沙門天像は、シルクロードの東西文化交流によって生まれたことを初めて解明。従来の定説を超越し、わが国の古代文化の源流の一つがギリシア・ローマ文化まで遡ることを実証する。



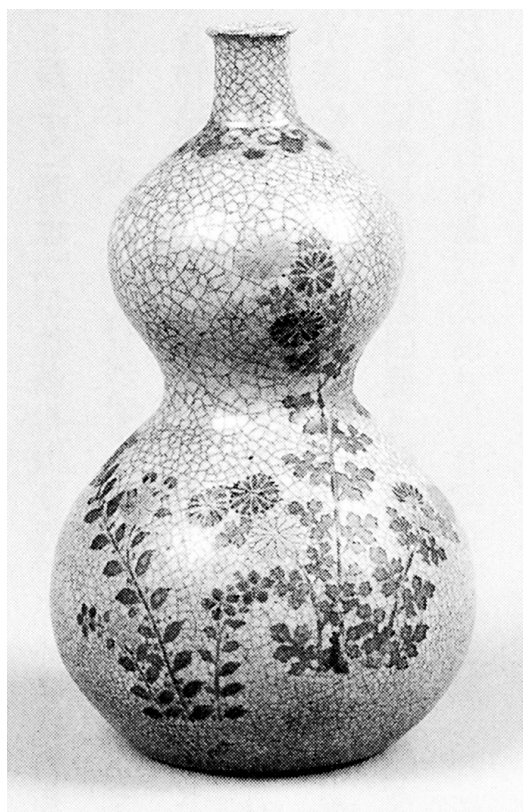
# 近世京焼の研究

岡 佳子著

京焼の窯業的な変遷を、文献史料と出土資料によって明らかにし、そこに野々村仁清・尾形乾山・奥田穎川・仁阿弥道八など京焼の名工たちの生涯と作品を位置づける。名工たちの陶業を産業としてとらえ、技術の系譜や産業的な展開、受容層のあり方、流通・市場の動向などの視点から京焼陶工の実態やその作風、あるいは京焼の通史を見直した一書。

〈主な内容〉「京焼」研究史をめぐって 【「京焼」の創始と諸国のやきもの】 京焼の黎明—軟質施釉陶器の時代—／桃山から江戸時代初期の茶陶流通と京都 【京焼窯場の成立と仁清】 登窯の導入と内窯窯場の展開／京焼の茶入／京焼のなかの高麗茶碗／京焼のなかの御室焼—仁清色絵茶碗を中心に— 【京焼の展開と乾山】 前期清水焼の諸相／京焼色絵の展開—いわゆる「古清水」をめぐって—／京焼のなかの乾山焼 【後期京焼の諸相】 後期京焼の胎動／後期清水焼の変遷／京焼における復古と創造／京焼陶工と国焼／まとめにかえて／あとがき／図版一覧／索引

岡 佳子／1981年京都女子大学大学院文学研究科修士課程修了 京都市社会教育振興財団職員・京都市歴史資料館嘱託を経て、現在、大手前大学総合文化学部教授 2008年博士（芸術学 筑波大学）



A 5判・434頁

定価 6,615円 978-4-7842-1558-4

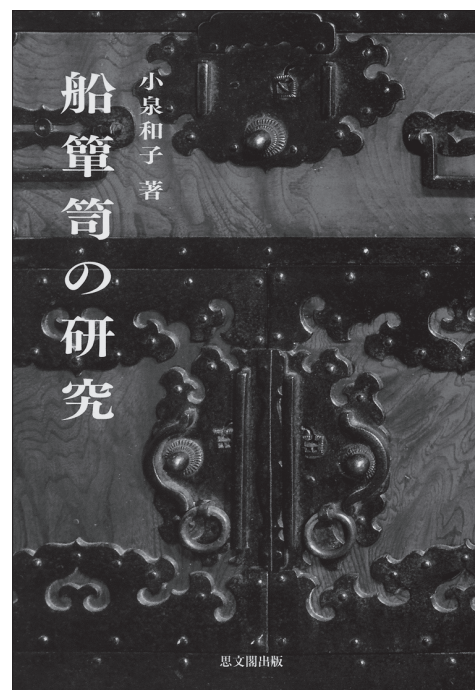
# 船簞笥の研究

小泉和子著

近世海運において船内で使われた船簞笥。本書はその成立から終息までを歴史的に考察し、デザインの形成を検証の上、その本質を明らかにする。様式史としてではなく、船簞笥自体を歴史を語る史料として試みた意欲的な一書。本文挿入図版多数。巻末に基礎資料として、浦証文一覧と、船簞笥215点の写真付き詳細データを収録。

〈主な内容〉【船簞笥とは何か】 船簞笥の種類と形／近世海運と廻船／船乗りの持具／船簞笥の呼称 【船簞笥の様式形成と豪華形の出現】 船簞笥の様式形成／様式変遷と豪華形の出現 【船簞笥の地域的差異と産地】 船簞笥の地域的差異と豪華形船簞笥の集中地域／豪華形船簞笥の産地—その一・佐渡小木湊—／豪華形船簞笥の産地—その二・出羽酒田湊—／豪華形船簞笥の産地—その三・越前三国湊—／船簞笥の大産地としての小木湊／実用形船簞笥の産地—その一・泉州堺—／実用形船簞笥の産地—その二・大坂—／実用形船簞笥の産地—その三・江戸— 【豪華形船簞笥と北前船】 運賃積船と買積船／豪華形船簞笥の展開と買積船の活発化／図表一覧／あとがき／浦証文一覧／年代判明の船簞笥一覧／年代不明の船簞笥一覧／年代判明の船簞笥データ／年代不明の船簞笥データ

小泉和子／女子美術大学芸術学部洋画科卒 東大工学部建築学科建築史研究室で日本家具・室内意匠史を研究し工学博士号 現在、昭和のくらし博物館館長、家具道具室内史学会会長



A 5判・本文 402頁・口絵 8頁

定価 6,300円 978-4-7842-1503-4

# 奈良甲冑師の研究

宮崎隆旨著

中・近世の奈良はわが国最大の甲冑生産地である。大流派となった春田・岩井をはじめ、当地のおびただしい数の甲冑師と、生産体制を解明。幕府や諸大名との関わりも検証。海外の作品を含め多数の図版を駆使し、日本の甲冑研究に画期をなす大著。またその前史として、古代の文献に現れる短甲と挂甲の形態について徹底論証、新たな問題を提起する。

〈主な内容〉緒言／わが国の律令制下における甲冑（造兵司（兵庫寮）〈生産体制／挂甲の素材と構成〉／国衙〈年料甲冑／簡易甲冑の量産と革甲への転換〉／挂甲と短甲の形態〈挂甲の形態／短甲の復活とその形態〉以下細目略／まとめに代えて一鎧と腹巻の形成）／中世奈良の甲冑生産（社寺の都と甲冑／甲冑市場奈良の展開／諸国の甲冑生産地と需要の動向）／近世初期の奈良甲冑師にみる特質（將軍家具足師岩井与左衛門—南都時代—／徳川家康遺品の近侍具足—いわゆる豊公影武者七騎の具足—／大名家扶持人の具足屋—細川氏扶持人春田又左衛門家をめぐって—）／近世奈良の甲冑生産（奈良具足／近世諸国の甲冑生産）／奈良甲冑師と作品（春田／岩井／諸家）／結語／別刷図版／あとがき／史料／図表一覧／索引

宮崎隆旨／1943年広島県生まれ 1971年 関西大学大学院修士課程日本史研究科修了 奈良県立美術館学芸課長、館長を経て、現在奈良県立万葉文化館参与、博士（文学、関西大学）

国宝・紅糸威梅に蝶金物鎧冑・大袖付（本書より）



B5判・本文552頁・原色口絵4丁・別刷単色図版80頁  
定価 31,500円 978-4-642-07912-9

## 正倉院展六十回のあゆみ

奈良国立博物館編集・発行

A4判・286頁

定価 3,150円 978-4-7842-1440-2

奈良皇室博物館での第1回正倉院展以降の歩みを、各回の主な出陳宝物のカラー図版や特徴・エピソード・出陳一覧などのデータと、研究者によるエッセイでたどる。毎回の図録の用語解説を整理・集大成して巻末に付す。



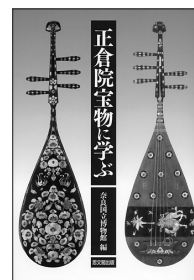
## 正倉院宝物に学ぶ

奈良国立博物館編

四六判・本文430頁・口絵8頁

定価 3,150円 978-4-7842-1439-6

宝物の保存と修理に携わる宮内庁正倉院事務所の研究者、東大寺・奈良国立博物館ゆかりの国内外の研究者が、正倉院研究の現在、八世紀の東アジア文化、宝物の保存・伝承の3つのテーマで報告・討論。カバー汚損あり。



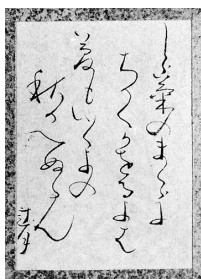
## 増補 蓮月尼全集

村上素道編

A5判・本文732頁・口絵38頁

定価 12,600円 978-4-7842-0182-2

多芸で知られ、閑雅・清新な作風で作陶と和歌に才能を発揮した歌人大田垣蓮月。本書は、蓮月の歌・消息・伝記を取めた全集（昭和2年）に、新発見の歌集、書画帖（花くらべ）、消息53通を増補した昭和55年版の復刊。



## 布がつくる社会関係

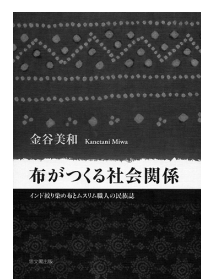
インド絞り染め布とムスリム職人の民族誌

金谷美和著

A5判・本文324頁・口絵6頁

定価 6,510円 978-4-7842-1341-2

染色業者カトリート、その生産する布について民族誌的記述を行い、布を生産することで構築される社会関係と、布の使用で構築される社会関係について解明。表象論を超えて—社会関係を築く媒体としての物質文化研究。



思文閣出版

日本・東洋／工芸

## 茶の湯文化と小林一三

逸翁美術館編

A 4判・オールカラー 148頁  
定価 2,000円 978-4-7842-1485-3

逸翁美術館の特別展「茶人 逸翁－茶の湯文化と小林一三－」の展覧会図録。小林一三（逸翁）の世界を5テーマ「茶道との出会い」「逸翁の茶懐石」「逸翁と茶友」「逸翁の茶道観」「逸翁の愛した茶道具」にそって紹介。



思文閣出版

日本・東洋／工芸

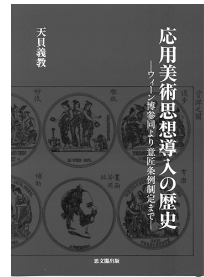
## 応用美術思想導入の歴史

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

天貝義教著

A 5判・410頁  
定価 7,875円 978-4-7842-1505-8

1884年「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」と表された応用美術。「デザイン之法」意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期美術工芸界に指導的役割を果たしたか。



中央公論美術出版

日本・東洋／工芸

## 上代裂集成

澤田むつ代著

A 4判2分冊・本文篇 460頁・図版篇 236頁  
定価 65,150円 978-4-8055-0395-9

東京国立博物館法隆寺宝物室において法隆寺裂の整理・修復に携わった著者が、法隆寺裂と正倉院裂を比較研究して上代裂の構造・組成を解明。古墳時代の出土裂まで考究し、新たな上代裂染色史を構築。



吉川弘文館

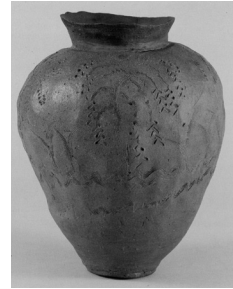
日本・東洋／工芸

## 中世須恵器の研究

吉岡康暢著

B 5判・本文 1,012頁・原色口絵 4頁  
定価 39,900円 978-4-642-07570-1

東日本海域の中世須恵器を素材に、徹底した資料の集成に考古学的分析を加え、戦後の歴史考古学の中心課題とされた中世陶器の歴史的な性格を解明する。また産業史・民衆史の一翼を担う「中世考古学」の確立をも標榜。残部僅少。



吉川弘文館

日本・東洋／工芸

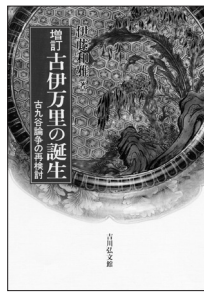
## 増訂 古伊万里の誕生

古九谷論争の再検討

伊藤和雅著

A 5判・本文 412頁・原色口絵 16頁  
定価 16,800円 978-4-642-07905-1

大航海時代、日本の磁器は飛躍的に発展した。古九谷焼が肥前有田で製作されたという通説を再検討し、加賀が誕生の地であることを実証する。好評の初版を改訂・増補し、古九谷焼＝有田産論争に一石を投じる注目の書。



吉川弘文館

日本・東洋／工芸

## 近世出土漆器の研究

北野信彦著

A 5判・本文 414頁・原色口絵 4頁  
定価 10,500円 978-4-642-03403-3

美術工芸品として考察が行われてきた従来の漆器研究に対し、近年急増する近世遺跡からの出土漆器を、日常的な生活什器と捉えて分析。近世の社会構造の一側面に迫る新たな研究成果。巻末に貴重な一覧データを付す。



吉川弘文館

日本・東洋／工芸

## 好古家たちの19世紀

幕末明治における《物》のアルケオロジー (シリーズ近代美術のゆくえ)

鈴木廣之著

A 5判・本文 240頁・原色口絵 4頁  
定価 4,095円 978-4-642-03756-3

美術品、考古遺物、文化財、骨董品などと分けられる以前、《古い物》は広大な一つの世界を構成していた。幕末から明治におけるその変容と、「名物学」を旗印にした好古家たちの活躍と挫折を描き、美術史の再考を促す。



吉川弘文館

日本・東洋／工芸

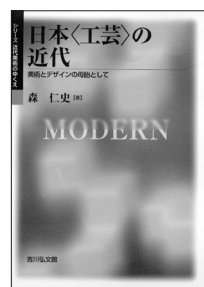
## 日本〈工芸〉の近代

美術とデザインの母胎として (シリーズ近代美術のゆくえ)

森 仁史著

四六判・本文 206頁・原色口絵 4頁  
定価 4,410円 978-4-642-03789-1

〈工芸〉は、明治以降、どのような変貌を遂げたのか？ 国家・民間レベルの振興策、工芸革新、そして高度経済成長がもたらした転換期。近代美術の中に工芸・デザインを位置づけ、未来をも展望する野心的試みの書。



# 織豊期主要人物居所集成

藤井讓治編

多くの研究者が複数の人物を取り上げ、居所情報を複眼的に確定した成果。各章は「略歴」と「居所と行動」で構成され、現在知りうる限りの居所情報を編年で掲載。政権の中心人物、有力武将、僧侶・文化人、公家など総勢 25 名を収録。辞書的な利用はもちろん、通覧すれば秀吉天下統一の道程や同時代人たちの交流を詳細に追える。

〈主な内容〉織田信長（堀新：共立女子大学文学部教授）／豊臣秀吉（天正 10 年 6 月 2 日以前・堀新）（天正 10 年 6 月以降・藤井讓治：京都大学大学院文学研究科教授）／豊臣秀次（藤田恒春）／徳川家康（天正 10 年 6 月以降・相田文三：虎屋文庫研究主事）／足利義昭（早島大祐：京都女子大学文学部准教授）／柴田勝家（尾下成敏：京都大学等非常勤講師）／丹羽長秀（尾下成敏）／明智光秀（早島大祐）／細川藤孝（早島大祐）／前田利家（尾下成敏）／毛利輝元（慶長 5 年 9 月 14 日以前・中野等：九州大学大学院比較社会文化研究院教授）（慶長 5 年 9 月 15 日以降・穴井綾香：九州大学大学院比較社会文化研究院特別研究者）／小早川隆景（中野等）／上杉景勝（尾下成敏）／伊達政宗（福田千鶴：九州産業大学国際文化学部教授）／石田三成（中野等）／浅野長政（相田文三）／福島正則（穴井綾香）／片桐且元（藤田恒春）／近衛前久（松澤克行：東京大学史料編纂所助教）／近衛信尹（松澤克行）／西笑承兌（柚田善雄：大手前大学総合文化学部教授）／大政所（藤田恒春）／北政所（高台院）（藤田恒春）／浅井茶々（福田千鶴）／孝蔵主（藤田恒春）



B 5 判・476 頁

定価 7,140 円 978-4-7842-1579-9

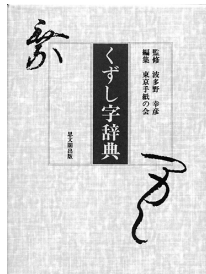
## くずし字辞典

波多野幸彦監修・東京手紙の会編

A 5 判・1,452 頁

定価 6,300 円 978-4-7842-1024-4

天皇・公家・武将・僧侶・茶人・文人・商人などの自筆消息（書状）からその筆跡（35,000 字）を拾集した辞典。著者総数 400 人をこえる筆跡を採集し、消息（書状）の解説、鑑賞など、筆跡の解明に幅広く活用できる。



## 禅語辞典

入矢義高監修・古賀英彦編著

A 5 判・600 頁

定価 9,975 円 978-4-7842-0656-8

禅語録中の難解な語句すべて（約 5,500）について、平易なことばで解釈を施した画期的な辞典。いわゆる漢文の語法では読めない口語の解説が備わり、研究者は勿論のこと漢文を読むすべての人に必携の書。



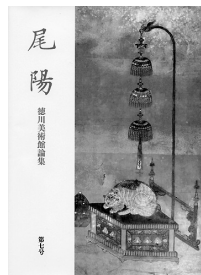
## 尾陽（徳川美術館論集 既刊 7 冊）

徳川美術館編

B 5 判・本文(各)約 180 頁・口絵(各)約 8 頁

定価(各) 3,150 円

徳川美術館は 2005 年に開館 70 周年を迎えた。より多くの方々に徳川美術館の研究活動を知って頂きたいとの願いにより、徳川黎明会編の史学美術史論集『金鯢叢書』収録分から徳川美術館分を独立させて刊行。分売可。



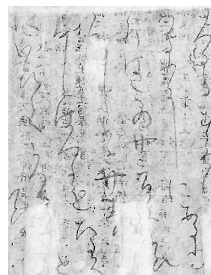
## 九条家本延喜式（一） 卷一・二・四・六・七甲・七乙

東京国立博物館古典籍叢刊編集委員会編

A 5 判・452 頁

定価 15,750 円 978-4-7842-1535-5

東京国立博物館所蔵の国宝・九条家本延喜式を、紙背文書も含め新撮の高精細画像の写真版で影印出版。朱書箇所は二色刷とし、第 5 回配本には九条家本延喜式の解説と紙背文書全点の翻刻を付す。全 5 巻の第 1 回配本。



思文閣出版

日本・東洋／歴史

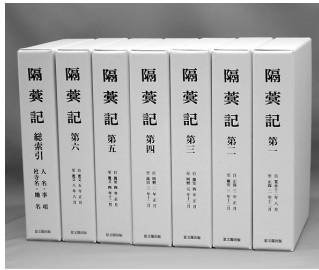
# かくめいき 隔莫記

全7巻 (本篇6巻・総索引1巻)

本篇：赤松俊秀校訂 索引：『隔莫記』研究会編

A5判・総5,130頁  
定価73,500円 978-4-7842-1311-5

近世文化揺籃期の社会相を知る重要史料、鹿苑寺住持鳳林承章の日記を活字化。17世紀中ごろの政治・経済・社会はもとより、画商・古書画・古陶などの記述も豊富で、文芸や芸能においても一級史料。総索引のみ分売可。



思文閣出版

日本・東洋／歴史

# 太子信仰と天神信仰

信仰と表現の位相

武田佐知子編

A5判・本文352頁・口絵2頁  
定価6,825円 978-4-7842-1473-0

両信仰に関わる美術史、文学史、宗教史、芸能史の研究を集成。時代のニーズとともに変化する信仰形態、それに付随するイメージの付与、そして宗派や地域を越えて多面的に利用される各々の信仰の進化形について解明。



思文閣出版

日本・東洋／歴史

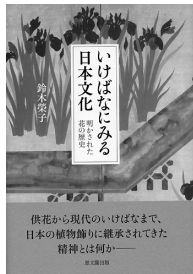
# いけばなにみる日本文化

明かされた花の歴史

鈴木榮子著

四六判・本文356頁・口絵2頁  
定価2,730円 978-4-7842-1557-7

古代の供花から現代いけばなまで、日本文化に一貫して継承された「生」への意識すなわち生命を尊ぶ思想—その精神にはじめて学問的な光をあて、日本文化という大きな枠組みの中でとらえる。図版多数掲載。



思文閣出版

日本・東洋／歴史

# しょうかどうしょうじょう 松花堂昭乗と瀧本流の展開

山口恭子著

A5判・356頁  
定価9,030円 978-4-7842-1559-1

昭乗と瀧本流の書について造型的な面のみならず、昭乗の著述した文芸作品、瀧本流の法帖など、文献資料や版本の検討を行うことにより、近世の書道史、出版史、文化史など広範な研究分野に新しい知見を提供する。



思文閣出版

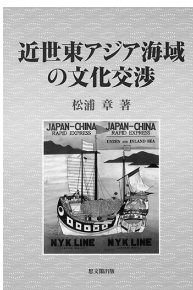
日本・東洋／歴史

# 近世東アジア海域の文化交渉

松浦 章著

A5判・472頁  
定価9,450円 978-4-7842-1538-6

波濤を越えた船の往来により支えられた東アジア諸地域間の交流。本書は清代帆船やその後の汽船に乗って海を渡った人・物・書籍や文化をとりあげ、中国・日本・朝鮮・琉球などの人々・文物の交流の諸相を解明。



思文閣出版

日本・東洋／歴史

# 文人世界の光芒と古都奈良

大和の生き字引・水木要太郎

久留島浩・高木博志・高橋一樹編

A5判・本文504頁・口絵4頁  
定価8,190円 978-4-7842-1481-5

個人により形成され、多様な史資料の「かたまり」である水木コレクションを主な分析の素材とし、日本史・考古・美術史・建築史・国文・地理等にわたる学際的な一書。国立歴史民俗博物館の共同研究の成果。



中央公論美術出版

日本・東洋／その他

# アジャクター壁画の研究

定金計次著

B4判・研究篇414頁・図版篇420頁  
定価68,250円 978-4-8055-0590-8

インド古代壁画の宝庫であるアジャクター石窟に残る壁画を未公開窟も含めほぼ総てを撮影し、未公開資料を多く含むアジャクター壁画全体の図版を公刊。文献資料を援用し、その機能と主題を解明、様式と技法の分析を総合的に研究。



中央公論美術出版

日本・東洋／その他

ライト アンド カラー

# Light & Color 絵画表現の深層をさぐる

井出誠之輔・城野誠治・山梨絵美子著・東京文化財研究所編

B4判・本文28頁・口絵208頁  
定価37,800円 978-4-8055-0592-2

最新光学技術での撮影方法で、美術作品の多様な情報を視覚化して解析、様々な可能性を示唆する。「源氏物語絵巻」、「高松塚古墳壁画」、「紅白梅図屏風」など豊富な実例も紹介、美術研究者、保存・修復科学者、必携の書。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 有識故実大辞典

鈴木敬三編

四六倍判・本文 856 頁・別刷原色 60 頁  
定価 18,900 円 978-4-642-01330-7

歴史や文学などを研究・理解する上で、必要不可欠な公家や武家の官職・年中行事・儀式作法・服飾・調度・建築・乗物・武器・武具等の中から、3200 項目を厳選して詳しく解説する。豊富な図版と便利な索引を付載する。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

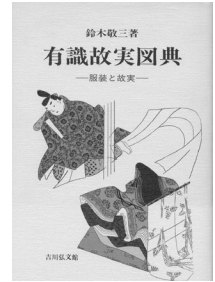
## 有識故実図典

服装と故実

鈴木敬三著

A 5 判・本文 230 頁・別刷 24 頁・原色口絵 4  
定価 2,940 円 978-4-642-07467-4

歴史や国文学等を学ぶには、有識故実の知識は欠かせない。本書は各種の絵巻物を駆使して、時代と共に変化を遂げてきた服飾関係を中心に、男装・女装・武装について、詳細な図により分かり易く解説する図録事典。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 明治国家と近代美術

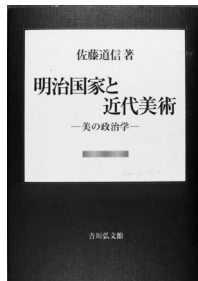
美の政治学

サントリー学芸賞・倫雅美術奨励賞(受賞)

佐藤道信著

A 5 判・本文 352 頁  
定価 7,875 円 978-4-642-03685-6

近代世界システムに積極的に参入していった明治日本は、「日本国家としての美術」の構築を目指した。近代日本の美術行政・制度や美術と美術史をめぐる言説などを論じ、近代に構築された美術の意味と認識の構造を問う。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 美術のアイデンティティー

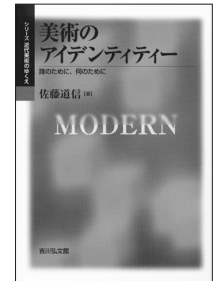
誰のために、何のために

(シリーズ近代美術のゆくえ)

佐藤道信著

A 5 判・本文 240 頁・原色口絵 4 頁  
定価 4,095 円 978-4-642-03778-5

美術は誰のため、何のためにつくられ、どこに向かうのか。東西の「美術史」展示の比較、戦後の日本美術の社会構造の検証などから、「美術」「美術史」そして「人間」存在の現在と、アイデンティティーを捉え直す注目の書。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 〈日本美術〉の発見

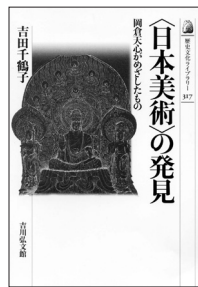
岡倉天心がめざしたもの

(歴史文化ライブラリー)

吉田千鶴子著

四六判・本文 224 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05717-2

明治の極端な欧化政策で危機に瀕した古物(古美術)を、岡倉天心はいかに「美術」品として再評価させたのか。フェノロサらと関わりつつ古美術保護に献身し、「日本美術」発見にいたる天心の足跡を、新史料を交え描く。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 満洲国のビジュアル・メディア

ポスター・絵はがき・切手

貴志俊彦著

A 5 判・本文 240 頁・原色口絵 8 頁  
定価 2,940 円 978-4-642-08036-1

幻想の王道楽土「満洲国」は、いかに自らの存在を国の内外へ認知させようとしたのか。そのメディア戦略の全貌を、記念行事や祝祭用のポスター、絵はがき、切手など豊富な図版で検証。新たな満洲国のイメージを描く。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

## 銅像受難の近代

平瀬礼太著

A 5 判・本文 360 頁  
定価 4,410 円 978-4-642-03803-4

明治以降、続々と建てられた楠木正成・二宮金次郎・西郷隆盛など偉人たちの銅像。その多くは時代に翻弄され、戦時中に鋳潰されたり、戦後に撤去されたりした。銅像たちの数奇な運命を激動の近現代史の中に読み解く。



吉川弘文館

日本・東洋／歴史

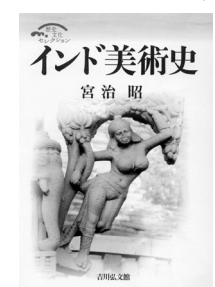
## インド美術史

宮治 昭著

(歴史文化セレクション)

A 5 判・本文 280 頁・原色口絵 1 丁・単色 16 頁・折込 1 丁  
定価 3,675 円 978-4-642-06355-5

仏教美術とヒンドゥー美術を中心にイスラム美術まで、インド美術の変遷を克明に辿る。歴史的概括にとどまらず、インド美術の特質を視点に捉え、豊富な図版を用いてわかりやすく解説する。美術鑑賞やインド旅行に必携。



# チチェローネ 絵画篇

—イタリア美術作品享受の案内—

ヤーコプ・ブルクハルト著 瀧内楨雄訳

19世紀に生きたスイスの美術史家・文化史家ブルクハルトがイタリアの美術作品案内という体裁をとりつつ古代からルネサンスを経てバロックに至る様式史を叙述した歴史的名著。「建築篇」に続き、「絵画篇」を訳出、刊行する。

〈主な内容〉古代絵画／古代キリスト教絵画とビザンチン絵画／ロマネスクの絵画／ゲルマン的絵画／十五世紀の絵画／旧ネーデルランドと旧ドイツのマエストロ／ステンドグラス／十六世紀の絵画／マニリス／近代絵画●ヤーコプ・ブルクハルト（1818-1897）…美術史家、文化史家。スイス・バーゼルに生まれ、生涯バーゼルに住み、同地で歿。バーゼル大学教授（1858-1893）。ヤーコプ・ブルクハルトが近代ドイツが生んだ最高の知性であり、かつまたもっとも美しい感性の持ち主であることは、大方の識者の認めるところであろう。ブルクハルトの主著といわれる著作のうち『イタリア・ルネサンスの文化』『世界史的考察』『ギリシア文化史』などの邦訳はすでに複数出版されていて、わが国の知識人にも容易に近づけるものになっており、長らく未刊であった『チチェローネ』は【建築篇】が2004年に全訳され、本書が【絵画篇】の全訳となる。『チチェローネ』はブルクハルトの美的教養、美意識を知るうえで不可欠の著作であり、本翻訳はわが国のブルクハルト理解のこの空白を埋めんとするものである。また本書は、イタリア美術を古代からバロック時代に至るまで時代別・都市別に詳細に紹介、論述したものであり、イタリア美術史研究にとっても不可欠の著作である。

チ  
チ  
エ  
ロ  
ー  
ネ  
〔絵画篇〕  
—イタリア美術作品享受の案内—

B 5判・本文 464頁・口絵 24頁・挿図 216点  
定価 34,650円 978-4-8055-0627-1

# アルベルティ 芸術論

〈新装普及版〉

森 雅彦編著

イタリア・ルネサンス期における万能人といわれる天才、レオン・バッティスタ・アルベルティの三大芸術論のうち「彫刻論」に加え、「都市ローマ記」「画家における点と線」「絵画の初程」などの小論も収録。原典の翻訳に加え、研究・解題編としてアルベルティ学の論究をはかる労作。

〈主な内容〉第一部テキスト編・彫刻論・都市ローマ記・画家における点と線・絵画の初程／第二部・研究・解題編・アルベルティの生涯・『彫刻論』について・『都市ローマ記』について・『画家における点と線』について・『絵画の初程』について・人文主義者の芸術世界／第三部補遺篇・補遺テキスト・建築の五つのオーダー・アポクリファルな芸術小論について

## アルベルティ 建築論

相川 浩訳

B 5判・本文 390頁・口絵 6頁・挿図 75点 定価 21,000円 978-4-8055-0010-1

アルベルティが著した建築論は、西洋建築史上2番目の古典であり、後世に大きな影響を与えてきた。建築技術の細部から都市問題まで、建築美の理想的特性を説いた本書は、古典主義建築の本質を説くとともに、ルネサンスから近世へかけての古代ローマ的装飾様式の資料としても重要である。

## アルベルティ 絵画論

《改訂新版》

三輪福松訳

A 5判・本文 140頁 定価 2,625円 978-4-8055-0675-2

ルネサンス芸術の原理—空間の美の認識—を具体的にあらわした本書は、ルネサンスによって本流の定まった西洋芸術の特質を正しく理解するうえで不可欠の書。

レオン・バッティスタ・アルベルティ

## 芸術論

〔新装普及版〕



A 5判・本文 342頁

定価 8,400円 978-4-8055-0638-7

中央公論美術出版

西洋／絵画

## ローマにおけるバロック芸術の成立

アロイス・リーグル著・蛭川順子訳

B5判・本文332頁・挿図279点  
定価29,400円 978-4-8055-0596-0

ウィーン美術史学派の泰斗が、古典の様式の頹廃とみられていた17世紀イタリアに生じたバロック芸術に新たな価値を付与し、その生成・興隆・衰退という発展史的变化上の普遍的原理を、広く芸術全般にわたって洞察した名著。



中央公論美術出版

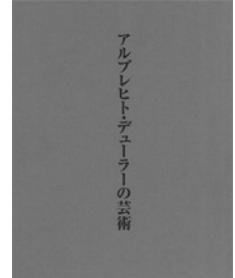
西洋／絵画

## アルブレヒト・デューラーの芸術

ハインリッヒ・ヴェルフリン著  
永井繁樹・青山愛香訳

B5判・本文384頁・口絵1丁・挿図155点  
定価34,650円 978-4-8055-0566-3

アルブレヒト・デューラーについて、20世紀初頭のスイスの巨匠、美術史家ヴェルフリンが、個人の画家を対象に論述した唯一の専攻研究。偉大な2人の芸術家・芸術史家の500年スパンの対話が、時代を超えて届いた傑作。



中央公論美術出版

西洋／絵画

## 絵画に現れた光について

ヴォルフガング・シエーネ著  
下村耕史訳

B5判・本文340頁・口絵6頁・挿図26点  
定価25,200円 978-4-8055-0604-2

ドイツの美術史家シエーネが、1954年に刊行した絵画に現れた光をテーマに論究した名著。中世絵画から発する画中光の歴史と問題点を追及、その形而上学の意義を明確にし、絵画の光の歴史を精緻に分析した貴重な文献。



中央公論美術出版

西洋／彫刻

## パルテノン・フリーズ

観察と考察

水田 徹著

B4判・本文386頁・口絵16頁・挿図900点  
定価39,900円 978-4-8055-0649-3

古代ギリシア・パルテノン神殿の全長160mに及ぶ浮彫彫刻の全容を細大漏らさず観察・記述・図版化し、日本及び世界におけるパルテノン研究の深化に大いに寄与する観察と分析。通算6度にわたる調査・撮影の成果の報告。



中央公論美術出版

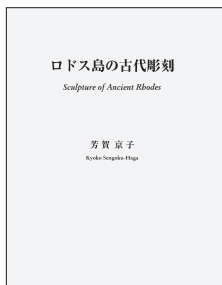
西洋／彫刻

## ロドス島の古代彫刻

芳賀京子著

B5判・本文714頁・口絵16頁  
定価36,750円 978-4-8055-0519-9

ロドス島の彫刻活動を解明することは、古代ギリシア・ローマ世界の芸術活動を理解する上で、最重要課題である。本書は碑文、古文獻、出土彫刻の膨大な量の史料に詳細な考察を加え、最新の研究成果を集大成した金字塔。



吉川弘文館

西洋／美術

## ベルニーニ

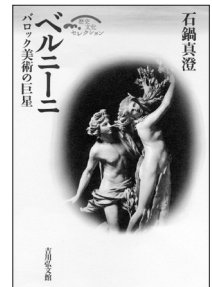
バロック美術の巨星

(歴史文化セレクション)

石鍋真澄著

A5判・本文292頁  
定価3,465円 978-4-642-06360-0

バロック美術の天才ベルニーニ。サンピエトロ広場、アポロとダフネなど建築・彫刻・絵画作品、祝祭の演出など境界を超えた多彩な芸術と生涯を時代背景と共に描く。図版・解説も充実した永遠の都市ローマの美術入門。



吉川弘文館

西洋／美術

## 聖母の都市シエナ

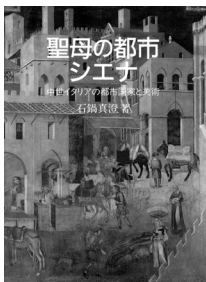
中世イタリア都市国家と美術

マルコ・ポーロ賞(受賞)

石鍋真澄著

A5判・本文286頁・原色口絵6頁  
定価4,095円 978-4-642-07248-9

数々の名画と中世そのままのたたずまいで知られる、中部イタリアの古都シエナ。この魅力ある都市に焦点をあて、豊富な史料と図版を用いて、都市国家の仕組や、市民たちの姿を浮き彫りにし、美術作品と社会の関わりを明かす。



吉川弘文館

西洋／美術

## ありがとうジョット

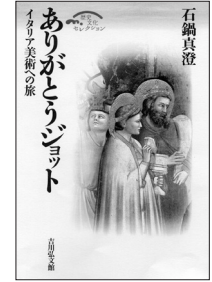
イタリア美術への旅

(歴史文化セレクション)

石鍋真澄著

A5判・本文300頁・原色口絵4頁  
定価3,360円 978-4-642-06352-4

ジョット、マザッチョ、カラヴァッジョの生涯と作品、中世市民の都市シエナ、反宗教改革の聖人とバロック美術、バロックの祝祭都市ローマ…ルネサンスからバロックまで、イタリア美術の魅力をわかりやすく描く。



# 日本産業技術史事典

## 日本産業技術史学会編

明治維新以降、めざましい発展を遂げてきた近代化の歩みを支えた産業技術の変遷を跡づけ、日本の産業技術史を俯瞰する。「日本の近代」の理解において不可欠でありながら、従来必ずしも系統的・組織的に実施されてこなかった日本の産業技術史研究を23の大項目に分け、関連項目を344の小項目としてとりあげた。大項目には3ないし4頁の総説をおき、日本産業技術の流れを把握することができる「読む事典」。近代化以前からの「草の根」における技術と技能の蓄積に対し光を当て、民間の「現場」の力を重視。

〈主な内容〉総説 日本産業技術・維新から1980年代まで（中岡哲郎）／道具（生活道具や工芸関連道具を中心に）（山口昌伴）／機械（鈴木淳）／素材（木材と土石）（石村眞一）／素材（鉄）（奈倉文二）／人工の素材（化学）（高松亨）／産銅業（内田俊秀）／石炭産業（後藤邦夫）／動力と動力システム（橋本毅彦）／鉄道と船（堤一郎）／航空機と自動車（坂上茂樹）／情報・通信（後藤邦夫）／生産技術（中岡哲郎）／農業・林業・漁業（堀尾尚志）／食品加工業（吉田元）／繊維と衣服（内田星美）／耐久消費財（平本厚）／建築とデザイン（麓和善）／環境技術（末石富太郎）／学協会と技術者集団（沢井実）／技術者教育（沢井実）／研究開発機関（田中一郎）／1980年代以降の産業技術（後藤邦夫）



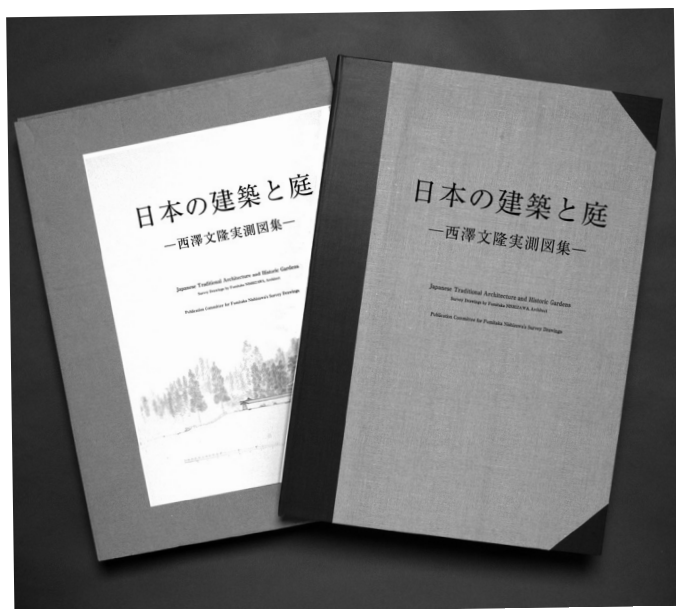
B5判・550頁  
定価 12,600円 978-4-7842-1345-0

# 日本の建築と庭 西澤文隆実測図集

## 西澤文隆著 藤井恵介・金澤良春・澤 良雄編

建築家・西澤文隆にとって実測は、日本の建築・庭園の研究において、きわめて重要・貴重なものである。厳島神社、西芳寺、鹿苑寺、京都御所、高山寺、修学院離宮などの名刹や神社、住宅など46ヶ所・96点の実測図を、A2判（新聞紙大）という大判の体裁に原寸、二分の一、折込図にして収録。

〈本書の特色〉◆**建築と庭の関係を捉えた実測図**。従来、庭の図面は庭のみを対象としていたのに対し、建築家である西澤文隆は、庭と建築の関係に注目。建築と庭の関係を捉えた実測図としては、類のないものである。◆**大部分を原図の50%大で掲載**。原図の縮尺は1/100が基本であるが、本書では印刷効果を最大限に発揮するため、原図の50%の大きさで掲載することを原則とした。◆**特殊印刷で繊細な鉛筆表現を再現**。実測図は、図そのものが観賞にたえる美しい作品である。これを濃淡2色のダブルトーンを使用し忠実に再現した。◆**全ての寺社・収録図を解説**。それぞれの寺社・庭は西澤の解説文を、個々の図面については編者の解説文を掲載。



図面篇A2判91枚・解説篇A4判・本文120頁・カラー図版8頁  
定価 52,500円 978-4-8055-0512-0

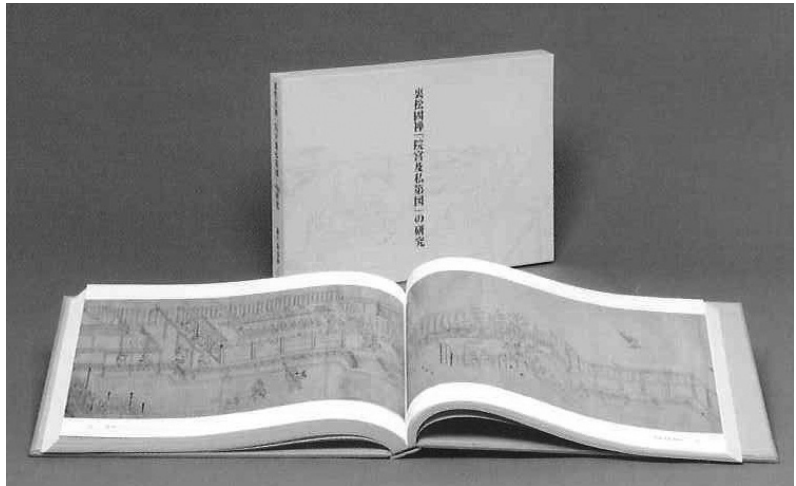
うらまつ こぜん いんぐう および していのず

# 裏松固禪「院宮及私第図」の研究

藤田勝也・京樂真帆子・岩間 香編

江戸時代後期の我国屈指の有職故実研究家、裏松光世（固全、1736-1804）によって、公家の住宅やそのしきたりのあり方に関する様々な史料を収集し校訂した著書を準備したのが、『院宮及私第図』である。有職故実はもとより、建築、歴史、美術、国文学などに影響を与える史料の翻刻と解題、研究。

〈本書の特色〉●大判による原色図版。『院宮及私第図』全容を収載。これまで一部にのみ知られていた本資料に、はじめて本格的かつ多角的視点から分析を加える●原資料に基づく既往研究の再評価。資料全体を扱うことで可能となった最新の見解をもとに、研究史における新たな位置づけを試みる。目次／序／図版目次／凡例／【図版篇】院宮及私第図（東博本）原色図版／院宮及私第図（東博本）翻刻・釈文／院宮私第図（古代学本）トレース全図／【本文篇】図総覧／図解説／研究論文／1 総論／2「東三条殿図」について／3「寝殿図」の由来と影響ならびに成立の経緯／4「古図 両中門」「両中門図」について／5 古記録にみえる指図について／6『院宮及私第図』（東博本）に見る絵巻物



A 3判横綴・口絵 254頁・本文 70頁  
定価 68,250円 978-4-8055-0539-7

思文閣出版

日本・東洋／建築

## 歴史のなかの天皇陵

高木博志・山田邦和編

A 5判・本文 336頁・口絵 4頁  
定価 2,625円 978-4-7842-1514-0

各時代に陵墓がどうあり、社会のなかでいかに変遷したか、考古・古代・中世・近世・近代における陵墓の歴史をやさしく説く。京都での公開講演に加え、研究者・ジャーナリストのコラムや、執筆者による座談会を収録。



思文閣出版

日本・東洋／建築

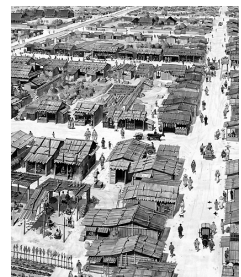
## 日本古代都市史研究

古代王権の展開と変容

堀内明博著

B 5判・514頁  
定価 15,750円 978-4-7842-1457-0

都市遺跡発掘に携わった著者の研究成果。長岡京の東宮、平安京の条坊など王朝都市から、源氏・平氏の館など中世前期都市まで、都城の展開と変容過程を時系列的に分析。古代王権のあり方を考古学の成果を踏まえ解明。



思文閣出版

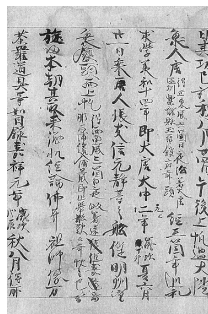
日本・東洋／建築

## 安祥寺資財帳 (京都大学史料叢書)

京都大学文学部日本史研究室編

A 5判・176頁  
定価 5,775円 978-4-7842-1516-4

安祥寺は多くの仏画・仏具・経典を蔵した真言系密教寺院。本資財帳は、開基僧惠運が貞観9年（867）に自ら記録したもので、巻首から巻尾まで備わった貴重な資財帳史料。現存諸本の祖である京都大学蔵本を影印収録。



思文閣出版

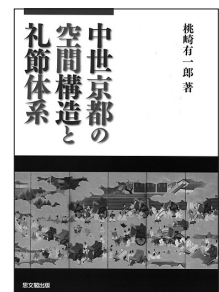
日本・東洋／建築

## 中世京都の空間構造と礼節体系

桃崎有一郎著

A 5判・584頁  
定価 7,560円 978-4-7842-1502-7

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は？ 参内するときはどこで牛車を降りればよいのか？ 中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明かし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。



思文閣出版

日本・東洋／建築

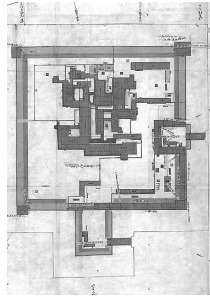
## 大工頭中井家建築指図集

中井家所蔵本

谷直樹編著

B4判・カラー16頁・モノクロ344頁  
定価18,900円 978-4-7842-1148-7

江戸幕府京都大工頭を勤めてきた中井家に伝わる建築指図517点を大判で収録し、解説を付す。その内容は、中井家の職務に対応して、城郭、武家屋敷、内裏、公家屋敷、寺院、神社、数寄屋、書院など幅広いものである。



思文閣出版

日本・東洋／建築

## みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編

A5判・268頁  
定価2,730円 978-4-7842-1378-8

「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じた京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」。様々な分野の主題をもとに、近現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試み85篇。



思文閣出版

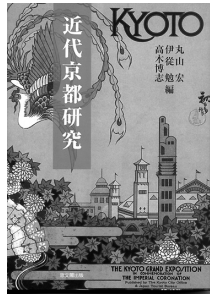
日本・東洋／建築

## 近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

A5判・628頁  
定価9,450円 978-4-7842-1413-6

近代京都には研究対象となる素材が豊富にある。本書は、京都という都市をいかに相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加した「近代京都研究会」の成果。



思文閣出版

日本・東洋／建築

## きたがきこくどう じんかい 北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

A5判・本文648頁・口絵4頁  
定価10,290円 978-4-7842-1499-0

京都府知事に就任した北垣国道の明治14年から明治34年までの日記。明治期地方官の実情が記され、京都のみならず中央政治史や地方自治・土木史・北海道史研究の進展に寄与する資料。塵海研究会の翻刻成果。



思文閣出版

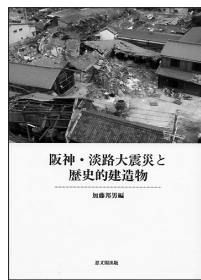
日本・東洋／建築

## 阪神・淡路大震災と歴史的建造物

加藤邦男編

B5判・本文276頁・口絵4頁  
定価8,190円 978-4-7842-0964-4

大地震が招いた歴史的建築物の被害状況を把握し、被災地区における復興、復元、修理補強の方策を探るのみならず、文化財建造物の将来にわたる保全、利活用における技術方策と環境の歴史的文化的価値の問題を再検討。



思文閣出版

日本・東洋／建築

## 祭りのしつらい

町家とまち並み

岩間香・西岡陽子編／京極寛写真  
B5判・カラー60頁・モノクロ164頁  
定価2,310円 978-4-7842-1360-3

祇園祭・天神祭をはじめ、城端(富山)や大津(滋賀)・日野(滋賀)・奈良井(長野)・倉敷(岡山)など各地の祭り飾りや造り物などをとりあげ、町家とまち並みを飾る祭りの文化を紹介。巻末に祭礼百選を収録。



中央公論美術出版

日本・東洋／建築

## 棟持柱祖形論

土本俊和著

A4判・本文384頁・挿図223点  
定価31,500円 978-4-8055-0630-1

歴史的な本造建築の一典型であり、日本建築史を貫く代表的な形である棟持ち柱構造を、歴史的な建造物の祖形として位置づけ、理論的・建築史的・名家研究的の三つのアプローチによって、多角的視点と実証的な知見を提供する。



中央公論美術出版

日本・東洋／建築

## 近世初期上層公家の遊興空間

後藤久太郎編著 松井みき子著

A5判・本文354頁  
定価13,650円 978-4-8055-0633-2

『无上法院日記』を研究の底本として、院を取り巻く上層公家の日常生活、人間関係、生活文化の視点から上皇や公家女性の日常的な遊興施設の用法を分析し、上層公家住宅史の一面を捉えた、新しい視点による建築史研究。



中央公論美術出版

日本・東洋／建築

## 源氏物語絵にみる近世上流住宅史論

赤澤真理著

A 5判・本文 236 頁・口絵 8 頁・挿図 52 点  
定価 12,600 円 978-4-8055-0605-9

源氏物語の舞台である古代寝殿造の空間は、近世上流階級においても、理想的な住空間とされてきた。本書は、源氏物語絵を中心とする物語絵に描かれた住空間表現を元に明らかにした精神史としての美術・建築史研究である。



吉川弘文館

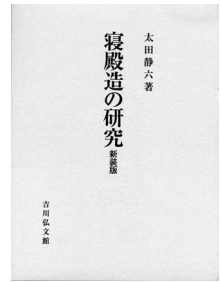
日本・東洋／建築

## 寝殿造の研究 新装版

太田静六著

B 5判・本文 1,016 頁・折込 3 丁  
定価 31,500 円 978-4-642-02476-1

未解明の問題が多かったが、本書により定説の誤りが正され数々の新説が披瀝された。寝殿造の基礎的研究として未だ評価が高い名著に、解説と索引を付した、待望の新装版復刊。



吉川弘文館

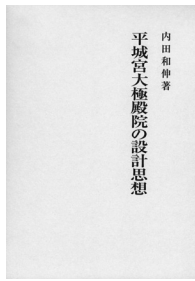
日本・東洋／建築

## 平城宮大極殿院の設計思想

内田和伸著

B 5判・本文 368 頁  
定価 16,800 円 978-4-642-02480-8

平城宮の中心であり国家的儀礼の場であった大極殿と大極殿院。その空間構成と背景にある思想を、古代中国の天文学から解明。近代における顕彰や展示にも言及し、平城宮の本来の機能に即した遺跡活用の今後を模索する。



吉川弘文館

日本・東洋／建築

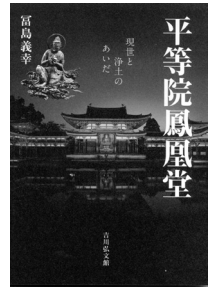
## 平等院鳳凰堂

現世と浄土のあいだ

富島義幸著

A 5判・本文 208 頁・原色口絵 4 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-08032-3

藤原頼通により現世と極楽浄土を結び空間として建立された平等院鳳凰堂。これまで個別に論じられてきた鳳凰堂の建築・仏像・絵画・庭園などを総合的に捉え直し、平安仏教の豊かな世界観と人々の祈りの姿を読み解く。



吉川弘文館

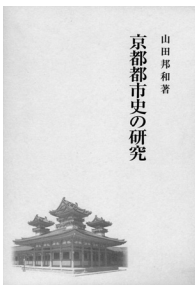
日本・東洋／建築

## 京都都市史の研究

山田邦和著

B 5判・本文 328 頁  
定価 9,975 円 978-4-642-09318-7

長く首都として機能した京都は、時代ごとにどのように様相を変えたのか。平安時代から中世まで、考古学と文献史学・歴史地理学・歴史民俗学をあわせて、都市構造を追究。変容をつづけた巨大都市の復元案を提示する。



吉川弘文館

日本・東洋／建築

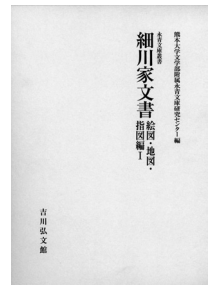
## 細川家文書 絵図・地図・指図編 I

(永青文庫叢書)

熊本大学文学部附属永青文庫研究センター編

A 4判・本文 72 頁・別刷原色図版 186 頁  
定価 26,250 円 978-4-642-01412-0

細川家に伝わる「景観と建築」に関わる重要資料 168 点を厳選収録。田辺籠城図をはじめ、江戸城や大名屋敷などの江戸関係、熊本城や国許屋敷、寺院・民家など領国肥後関係の図をオールカラーで掲載した待望の史料集。



吉川弘文館

日本・東洋／建築

## 日本住居史

小沢朝江・水沼淑子著

四六判・本文 414 頁・原色口絵 4 頁  
定価 3,990 円 978-4-642-07947-1

生活の器であり、時代と文化を映す鏡ともいえる住宅の歴史を探る。弥生人の集落から、寝殿造、和室の原型＝書院造の誕生、江戸城、「2DK」の現代まで。住まいの行方と、変わりゆく家族・個人の生活のあり方を問う。



吉川弘文館

日本・東洋／建築

## 明治の皇室建築

国家が求めた〈和風〉像

(歴史文化ライブラリー)

小沢朝江著

四六判・本文 240 頁  
定価 1,785 円 978-4-642-05663-2

維新後、皇族は〈洋風〉化の手下とされた。しかし明治天皇は〈和風〉建築だが内部は〈洋風〉の宮殿に住み、東宮には〈和風〉装飾が隠された御所が造営された。皇室建築に表現されたものは何か。国家が求めた〈和風〉空間を探る。



# ゴシック建築大成

パウル・フランクフル著 ポール・クロスリー校訂  
佐藤達生・辻本敬子・飯田喜四郎訳

ゴシック建築文化は、ヨーロッパの永い芸術史の中でも最大級の規模と質の高さで、ほかの芸術様式から抜きん出ている。フランクフル（1878-1962）は、一代を画した美術史家ヴェルフリンの高弟であり、本書はその様式理論を、450年にわたる全ヨーロッパのゴシック建築に適用して総合的な理論の構築を体系化した、数あるゴシック研究における並ぶもののない空前絶後の労作である。校訂者クロスリーの15年に及ぶ詳細を極めた注釈・解説付き決定版。

パウル・フランクフル（1878-1962）プラハの著作家・学者の家系でユダヤ人の旧家に生まれる。はじめ建築を学ぶが、のちにミュンヘン大学でベルトリト・リールの指導の下に、南ドイツのステンドグラスに関する研究論文を1910年に提出し、博士号を取得。また、ミュンヘン時代にはドイツならびにヨーロッパの美術史の創設者の一人、ハインリヒ・ヴェルフリンに師事し、ルネサンスとポスト・ルネサンス建築に関する大学教授資格取得論文を発表。1921年、ハレ・ヴィテンベルク大学美術史教授に任命され、理論的関心を中世建築に応用し始める。1933年、ナチスによりハレ大学教授職から追放され、渡米。プリンストン大学研究所の所員として受け入れられ、死ぬまでこのポストにとどまる。この間、本書の姉妹篇『ゴシック論大成』（1959）（小社刊予定）を執筆。1962年同地で歿。



B 5判・本文 776 頁・口絵 8 頁・挿図 336 点  
定価 60,900 円 978-4-8055-0661-5

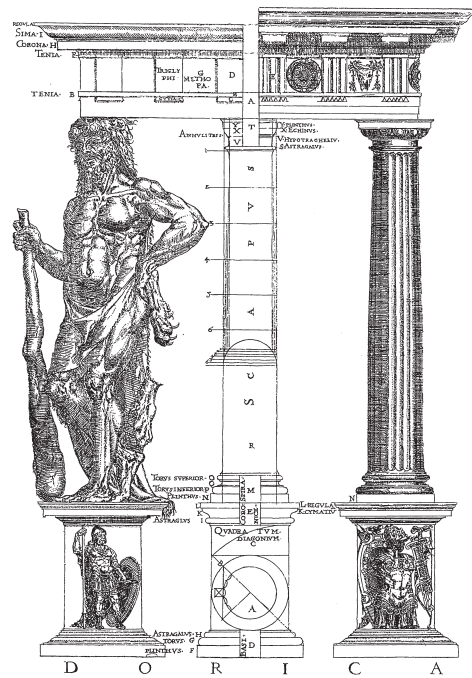
# ヒューマニズムの建築

— 趣味の歴史の研究 — 注解

ジェフリー・スコット著 桐敷真次郎編著

1924年に刊行された本書の著者スコット（1883-1929）は、一代を画した美術史家ベレンソンに若くして親炙し、イタリアのルネサンス・バロック建築に対するまれに見る深い洞察から、真に生命力のあるヒューマンな建築の本質を抽出し、アクチュアルな規範を提供し続けた。編訳者の詳細を極めた訳注、スコットの思想的足跡を追った膨大な図版および本邦初の本格的伝記を骨格とする解説と、140ページに上って網羅した索引を付し、刊行後100年近くを経てなお読み継がれる古典的文献の全訳であり、建築史上の巨大な思想家の本文を余すことなく注解した定本となる決定版。

〈主な内容〉はしがき / 第2版へのはしがき / 序論 ヒューマニズムの建築 / ルネサンス建築 / ロマン主義の虚偽 / ロマン主義の虚偽（つづき） / 機械論の虚偽 / 道徳論の虚偽 / 生物論の虚偽 / アカデミックな伝統 / ヒューマニズムの価値 / 結論 / エピローグ / 分析的要約 / 付録：ジェフリー・スコットの生涯と業績 / はじめに / スコットの生い立ち / ベレンソンとスコット / 「ヴィットラ・イ・タッティ」の生活 / 『ヒューマニズムの建築』初版と20世紀古典主義 / 第一次世界大戦とヴィットラ・メーディチでの生活 / 『ヒューマニズムの建築』第2版 / 『ゼリートの肖像』 / 『ボズウェル文書』の編纂とスコットの死 / 1920年代・30年代の建築 / 第二次世界大戦後における古典主義 / 『ヒューマニズムの建築』の現代的意義



B 5判・本文 970 頁・挿図 552 点  
予価 63,000 円 978-4-8055-0662-2

# 世界の城郭 (新装版) 全4冊

**太田静六著** 建築史家である著者が、世界各国の古城を踏査し、その魅力を語りつくす。城郭の発祥地である古代エジプトから、イギリス、フランス、スペイン、ポルトガル、ドイツ、北欧、東欧まで、さまざまな城郭を多くの写真と城の配置図とともにわかりやすく解説。城郭愛好家から研究者まで楽しめる人気シリーズ、待望の復刊。

## スペイン・ポルトガルの古城

B 5判・本文 144 頁・別刷原色図版 8 頁・別刷単色図版 140 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-06420-0

## ドイツ・北欧・東欧の古城

B 5判・本文 196 頁・別刷原色図版 8 頁・別刷単色図版 148 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-06421-07

## イギリスの古城

B 5判・本文 146 頁・別刷原色図版 16 頁・別刷単色図版 118 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-06422-4

## ヨーロッパの古城 城郭の発達と フランスの城

B 5判・本文 192 頁・別刷原色図版 8 頁・別刷単色図版 128 頁  
定価 3,150 円 978-4-642-06423-1



## 建築論全史 全2巻

ハンノ・ヴァルター・クルフト著 竺 覚暁訳

B 5判・第I巻本文 440 頁・挿図 151 点・第II巻本文 560 頁・挿図 56 点  
第I巻定価 31,500 円 978-4-8055-0606-6  
第II巻定価 36,750 円 978-4-8055-0607-3

本書は、ウィトルウィウスから現代までの建築理論を包括的に、広範囲に扱った歴史書である。各々の時代の建築論は、どのような「時代精神」によって構築されてきたかを如実に語る。世界各国で翻訳されている建築論事典。

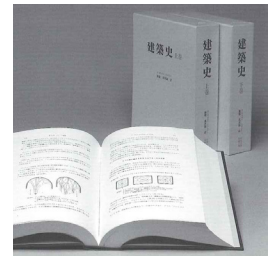


## 建築史 全2巻

オーギュスト・ショワジー著 桐敷真次郎訳

B 5判・上巻本文 768 頁・挿図 412 点・下巻本文 964 頁・挿図 455 点  
上巻定価 47,250 円 978-4-8055-0561-8  
下巻定価 63,000 円 978-4-8055-0562-5

世界の建築様式に共通する原理・法則を解明したショワジーの建築論は、ル・コルビュジエをはじめ世界中の建築家に影響を与えた。原著で不透明な記述に訳注を補足、巻末には詳細な索引を付した世界建築史の古典的名著。



## テストメント

フランク・ロイド・ライト著

樋口 清訳

B 5判・本文 260 頁・挿図 200 点  
定価 26,250 円 978-4-8055-0632-5

死の2年前に出版され、人間性に基づく設計理念や、建築的キャリアの総和として、数多くの図版を掲げて、ライトの思索が結実した結果がその建築＝哲学であることを実例・実証的に表明した、時代を超えた渾身の提言である。

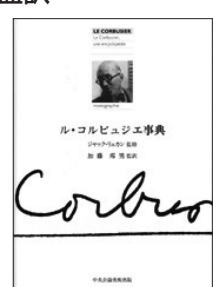


## ル・コルビュジエ事典

ジャック・リュカン監修 加藤邦男監訳

A 4判・本文 680 頁・カラー図版 54 点・モノクロ図版 547 点  
定価 63,000 円 978-4-8055-0540-3

ポンピドーセンターの企画のもと、ル・コルビュジエ生誕100年記念事業として、フランス文化省が威信をかけて刊行。20世紀最大の建築家ル・コルビュジエの145の主要な項目を、詳細な論考と多彩な図版を掲載した決定版事典。



中央公論美術出版

西洋／建築

## 建築家ガウディ全語録

鳥居徳敏編訳注解

B5判・本文660頁・挿図408点  
定価37,800円 978-4-8055-0554-0

独創的な建築意匠と構想を持っていたアントニオ・ガウディ。本書は焼失を免れ現存する全てのガウディ直筆の文章に、公文書や、関係者が記録したコメントや会話を網羅・収集し、詳細な注を加えた。ガウディ初の全語録の公刊。



中央公論美術出版

西洋／建築

## 建築へ 《新装普及版》

ル・コルビュジェ＝ソーニエ著  
樋口 清訳

B5判・本文244頁・挿図194点  
定価4,725円 978-4-8055-0657-8

1923年刊行の近代・現代建築の不朽のバイブル。ル・コルビュジェ財団の全面的協力のもと、オリジナル初版本とほぼ同じ判型・装丁・レイアウトで流麗な新訳と共に、ル・コルビュジェのエスプリ・センスのままに刊行する新装版。



吉川弘文館

西洋／建築

## サンピエトロ大聖堂

石鍋真澄著

四六判・本文234頁・原色2頁  
定価2,940円 978-4-642-07770-5

サンピエトロ大聖堂は2000年におよぶ宗教と芸術の偉大な記念碑である。キリスト教美術の神髄である聖堂を細部まで紹介する。キリスト教美術の殿堂のガイドブック。



吉川弘文館

西洋／建築

## サンピエトロが立つかぎり

私のローマ案内

石鍋真澄著

四六判変型・本文326頁  
定価2,625円 978-4-642-07250-2

「永遠の都」ローマは歩くたびに新たな発見がある。美術史家が実際に歩きながら、遺跡や聖堂、噴水や広場について歴史的エピソードをまじえて平易に解説したローマ案内。



ぜひこの機会に3社のユニークな美術書をお手元にお揃えください。

### 美術書カタログ「美の誘惑」

美術書特選目録2011／絵画・彫刻・工芸・歴史・建築

2011年10月発行

\*本目録掲載の定価は消費税5%込です。

\*本目録掲載書目の内容についてのお問い合わせはそれぞれの社にお願いいたします。

\*「出版目録」をご希望の方はそれぞれの社にお申込下さい。

株式会社

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町 355

電話 075-751-1781 / FAX.075-752-0723 <http://www.shibunkaku.co.jp/>

株式会社

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7 / 電話 03-3561-5993

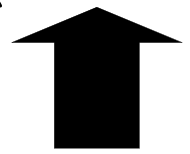
FAX.03-3561-5834 <http://www.chukobi.co.jp/>

株式会社

吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-8 / 電話 03-3813-9151

FAX. 03-3812-3544 <http://www.yoshikawa-k.co.jp/>



受注窓口：思文閣出版 営業部 行  
FAX 075 - 752 - 0723

**FAX注文書**

年 月 日

ご氏名				(印)
お届け先	郵便番号	—	電話番号:	( )
			FAX:	( )
	ご住所	_____		
	ご連絡先		電話番号:	( )
			FAX:	( )
通信欄				

◆下記書籍を注文します

出版社名	書名	税込価格	ISBN	部数

◆配本は、下記の方法にします

(A) 書店に配本してください

(B) 直接送本してください

[書店帳合印]

時間帯お届け

- 午 前 中 ・ 12時～14時
- 14時～16時 ・ 16時～18時
- 18時～20時 ・ 20時～21時

書店様へ 帳合印を捺印の上、FAXしてください

本用紙を、直接書店へお渡し下さい。または、書店名・所在地・電話番号などをご記入下さい。

(株)ブックサービスより代金引換便でお送りします。書籍代の他に送料・手数料として、書籍代計1,500円未満は500円、1,500円以上は200円を申し受けます(いずれも税込)。お届けの際に代金(書籍代+送料・手数料)をお支払い下さい。なお、お届けまでに1週間ほどの猶予を戴きます。